

新潟市人権施策 の実施状況

令和5年度実績
(令和6年度計画)

令和6年11月

新潟市市民生活部広聴相談課

分野別人権施策の実施状況（令和5年度実績）

本市は、「新潟市自治基本条例」において「一人ひとりの人権が大切にされるまち」を、「にいがた未来ビジョン(新潟市総合計画)」では「市民の人権と安全が確保され安心して暮らせるまち」を未来都市像として掲げています。これらを実現するため、「人権文化」を育み、人権意識を定着させることを目的として「新潟市人権教育・啓発推進計画」を策定、これに基づき人権教育・啓発に関する施策や事業を推進しています。

本資料は令和5年度に実施した施策や事業をとりまとめたものです。

分野別の項目		実施事業数	所管する所属数
分野 1	市職員に対する人権教育・啓発	10	7
分野 2	地域社会における人権教育・啓発の推進	4	3
分野 3	学校における人権教育の推進	16	8
分野 4	生涯学習における人権教育・啓発の支援	1	1
分野 5	民間団体における人権教育・啓発の支援	1	1
分野 6	企業における人権教育・啓発の支援	2	1
分野 7	インターネットによる人権侵害を防ぐための教育・啓発の推進	2	2
分野 8	人権救済のための相談制度の充実等	6	4
分野 9	女性に関する人権問題	10	15
分野 10	子どもに関する人権問題	13	11
分野 11	高齢者に関する人権問題	3	3
分野 12	障がい者に関する人権問題	10	5
分野 13	同和問題	12	5
分野 14	外国籍市民等に関する人権問題	2	1
分野 15	H I V感染者・ハンセン病患者等に関する人権問題	2	1
分野 16	新潟水俣病に関する人権問題	4	1
分野 17	北朝鮮当局による拉致被害者とその家族に関する人権問題	1	1
分野 18	L G B T Q等性的マイノリティに関する人権問題	1	1
分野 19	犯罪被害者等に関する人権問題	2	1
分野 20	総合的かつ効果的な計画推進に向けて	3	2
小計(再掲事業を含む)		105	
実施事業数の合計		77	※実事業数

◎ 主な用語の解説（1 / 4）

<五十音順>

あ行

インクルーシブ教育

人間の多様性の尊重等の強化，障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ，自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下，障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みのこと。

H I V（ヒト免疫不全ウイルス）

ヒトの免疫細胞を破壊し，免疫力を低下させるウイルス。ヒトの血液や体液にいます。主要な感染経路は性行為による感染であり，その他の感染経路としてH I Vに汚染された血液を介した感染，母子感染等がある。治療の進歩により，早期に治療を開始した感染者は健常者と同等の生活を送ることができるようになった。

S N S

Social Networking Serviceの略で，登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。友人同士や，同じ趣味を持つ人同士が集まったり，近隣地域の住民が集まったりと，ある程度閉ざされた世界にすることで，密接な利用者間のコミュニケーションを可能にしている。

N G O

Non-Governmental Organizationの略称で，非政府組織。当初は援助・環境・開発・人権等の分野で国際的に活動する非政府間の組織を意味していた。しかし，現在では国・自治体・企業以外の国内で活動する民間団体もこのように呼ばれている。

N P O

Non-Profit Organization又はNot-for-Profit Organizationの略称で，民間非営利組織。様々な社会貢献活動を行い，団体の構成員に対し，収益を分配することを目的としない団体の総称。

L G B T Q

Lesbian（レズビアン）＝女性同性愛者，Gay（ゲイ）＝男性同性愛者，Bisexual（バイセクシュアル）＝両性愛者，Transgender（トランスジェンダー）＝こころとからだの性に違和感を感じる人，Questioning（クエスチョニング）＝自分の性別が分からない、意図的に決めていない、決まっていない人／Queer（クィア）＝性的マイノリティを包括する言葉の頭文字をとった性的マイノリティを表すことばのひとつ。

◎ 主な用語の解説（2 / 4）

か行

外国籍市民等

新潟市において、施策・事業等の対象者とする場合に、新潟市内に居住されている住民であることを念頭に、現在の国籍が外国籍である人だけでなく、日本であっても、両親のいずれかが外国人である子や海外からの帰国者、日本国籍取得者など、外国につながりがあり、多様な文化的背景を持つ人々の総称をいう。

協働

新潟市自治基本条例では、市民と市が対等な関係で相互の立場や特性を理解し、目的を共有し、並びに連携や協力することとしている。「市民と市の対等な関係」とは、市民の自発的な活動を前提とし、お互いの自主性・自立性を尊重し、損なうことのないよう配慮することを意味する。

合理的配慮

障がいのある人（本人が意思の表明を行うことが困難な場合にはその支援者）が社会的障壁の除去を求めている場合や、それを認識しうる場合において、障がいのある人の人格、人権及び意向を尊重し、障がいのある人の性別、年齢、障がいの状態等に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な変更及び調整を行うことであって、その実施に伴う負担が過重でないものをいう。

国際連合（国連）

1945年10月24日、20世紀前半に二度にわたって悲惨な世界大戦を経験した反省を踏まえ、国際平和を維持する目的をもって設立された政府間国際組織。

さ行

人権条約

人権の保護と促進を目的に国連が中心となって採択した人権に関する条約。日本は「自由権規約」、「社会権規約」、「女子差別撤廃条約」、「児童の権利条約（子どもの権利条約）」、「障害者権利条約」、「人種差別撤廃条約」、「拷問等禁止条約」等の条約の締約国である。

スクールカウンセラー

児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能の充実に資するため配置された、臨床心理に専門的な知識・経験を有する専門家。

性的マイノリティ

LGBTなど、多様な性のあり方の中で少数派とされる人々のこと。「性的少数者」「セクシュアル・マイノリティ」ともいう。

◎ 主な用語の解説（3 / 4）

セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

職場において、性的な冗談やからかい、食事やデートへの執拗な誘い、身体への不必要な接触など、意に反する性的な言動が行われ、拒否したことで不利益を受けるなど、職場の環境が不快なものとなることをいう。

ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）

さまざまな理由により社会の諸制度や市場、社会関係から孤立し、排除された人の「社会参加する権利」を認め、包摂することをいう。

た行

ダイバーシティ

「多様性」のこと。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。

ドメスティック・バイオレンス（DV）

Domestic Violenceの頭文字をとってDVともいう。配偶者やパートナーなど親密な関係にある人からの身体的暴力、精神的暴力、社会的暴力、性的暴力、経済的暴力などのこと。

な行

新潟市自治基本条例

新潟市における住民自治の基本理念や自治体経営の基本原則などを盛り込むとともに、市民による主体的なまちづくりのための住民参画の考え方などを定めるもの。

新潟水俣病患者

新潟県の新潟水俣病地域福祉推進条例において、新潟水俣病の原因であるメチル水銀が蓄積した阿賀野川の魚介類を摂取したことにより通常のレベルを超えるメチル水銀にばく露した者であって水俣病の症状を有する者と定義されている。公害健康被害の補償等に関する法律による認定患者で水俣病総合対策の手帳を持っている方や新潟水俣病福祉手当を受給されている方も新潟水俣病患者とされている。

新潟市総合計画2030

新潟市政の最上位計画で、2023（令和5）年度から2030（令和12）年度までの8年間における新潟市が目指す姿（都市像）の実現に向けたまちづくりについて示す計画。まちづくりの理念や目指す都市像、そしてそれらを実現するための「重点戦略」などについて記載している。

◎ 主な用語の解説（4 / 4）

は行

ハラスメント

英語のharassmentで「嫌がらせ」「相手を悩ませること」などを意味する。「セクシュアルハラスメント」, 「パワーハラスメント」などがある（→それぞれ用語を参照）。

パワーハラスメント（パワハラ）

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与えるなど、職場環境を悪化させる行為をいう。

ハンセン病

ノルウェーのハンセン博士によって発見されたらい菌という細菌によって引き起こされる感染症。らい菌に感染しただけでは発病する可能性は極めて低く、発病しても現在では治療方法が確立している。また、遺伝病でないことも判明している。

プライバシー

個人の日常生活や社会行動について、他人の干渉を許さない各個人の私生活上における自由。

ヘイトスピーチ

一般的に「憎悪に基づく差別的な言動」を意味し、外見上の特徴、国籍、人種、民族、出生、性別、職業、思想、宗教などの違いを理由に、暴力、暴言、誹謗中傷、差別発言や書き込みなどを行い、差別をあおったり、侮辱したりする行為。

本人通知制度

住民票の写し等の不正取得による個人の権利利益の侵害を防止するとともに、住民票の写し等が第三者等に交付された事実を知る権利を保障することを目的とする制度。

わ行

ワーク・ライフ・バランス

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

分野別人権施策の実施状況一覧（令和5年度実績）

施策分野		【計画との対応項目】	
番号	事業名	所管所属名	頁
1 市職員に対する人権教育・啓発 【第4章の1-(1)】			
1	人権啓発物品、リーフレット及び啓発冊子の作成、配布	広聴相談課	1
2	新潟市人権教育・啓発推進計画冊子作成、配布	広聴相談課	2
3	外部研修参加	広聴相談課	3
4	窓口職員人権研修	市民生活課	4
5	市職員に対する人権関係の意識啓発講座	人事課	5
6	新潟市人権教育研修会	生涯学習推進課	6
7	江南区・秋葉区合同人権研修	秋葉区地域総務課	7
8	西区職員研修(子どもの権利を守るために～)	西区総務課	8
9	新潟水俣病職員研修(再掲)	保健衛生総務課	82
10	市職員等を対象とした犯罪被害者等支援研修(再掲)	市民生活課安心・安全推進室	87
2 地域社会における人権教育・啓発の推進 【第4章の1-(2)】			
1	人権啓発物品、リーフレット及び啓発冊子の作成、配布（再掲）	広聴相談課	1
2	新潟市人権教育・啓発推進計画冊子作成、配布（再掲）	広聴相談課	2
3	消費者被害の防止に向けた取組	消費生活センター	9
4	あきは未来フォーラム	秋葉区区民生活課	10
3 学校における人権教育の推進 【第4章の1-(3)】			
1	人権イラスト展	広聴相談課	11
2	保育施設等職員の人権研修	保育課	12
3	人権講演会	北区区民生活課	13
4	中学生を対象とした人権講話会	秋葉区区民生活課	14
5	中学生向け人権講演会	南区区民生活課	15
6	人権教育、同和教育担当者研修	学校支援課	16
7	情報モラル指導	学校支援課	17
8	新潟市同和教育研究協議会	学校支援課	18
9	新潟県同和教育研究協議会「研究集会」	学校支援課	19
10	教職員同和教育研修会	学校支援課	20
11	教職員の経験年数に応じた人権教育、同和教育研修会	学校支援課	21
12	現地研修	学校支援課	22
13	外部講師派遣研修	学校支援課	23
14	人権教育、同和教育研修 要請訪問	学校支援課	24
15	環境学習(再掲)	保健衛生総務課	83
16	新潟市子ども条例推進事業(再掲)	こども政策課	57
4 生涯学習における人権教育・啓発の支援 【第4章の1-(4)】			
1	研修・講演・講師 紹介ガイド	生涯学習センター	25
5 民間団体における人権教育・啓発の支援 【第4章の1-(5)】			
1	市民活動支援センターの管理運営	市民協働課	26
6 企業における人権教育・啓発の支援 【第4章の1-(6)】			
1	賃金労働時間等実態調査	雇用・新潟暮らし推進課	27
2	働き方改革推進事業	雇用・新潟暮らし推進課	28
7 インターネット(SNS)による人権侵害を防ぐための教育・啓発の推進 【第4章の1-(7)】			
1	インターネットモニタリング事業	広聴相談課	29
2	情報モラル指導（再掲）	学校支援課	17

分野別人権施策の実施状況一覧（令和5年度実績）

施策分野		【計画との対応項目】	
番号	事業名	所管所属名	頁
8 人権救済のための相談制度の充実等 【第4章の2】			
1	市民相談事業	広聴相談課	30
2	消費生活相談事業	消費生活センター	31
3	相談体制の充実	男女共同参画課	32
4	配偶者暴力相談支援センター事業	男女共同参画課	33
5	性的マイノリティ支援事業(再掲)	男女共同参画課	85
6	外国籍市民等及び留学生への支援(再掲)	国際課	77
9 女性に関する人権問題 【第5章の1】			
1	男女共同参画啓発事業	男女共同参画課	34
2	仕事と生活の調和の推進	男女共同参画課	35
3	男女共同参画推進センター	男女共同参画課	36
4	相談体制の充実(再掲)	男女共同参画課	32
5	アルザフォーラム	男女共同参画課	37
6	配偶者暴力相談支援センター事業(再掲)	男女共同参画課	33
7	女性緊急一時保護等事業費補助金	男女共同参画課	38
8	乳幼児家庭教育学級(ゆりかご学級)「いま親としてⅠ・Ⅱ」	該当公民館(13ヶ所)	39
9	女性セミナー「無意識の思い込み～気づくことでみえる新たな私」	豊栄地区公民館	52
10	女性セミナー「これから働くママ応援セミナー」	坂井輪地区公民館	53
10 子どもに関する人権問題 【第5章の2】			
1	人権イラスト展(再掲)	広聴相談課	11
2	児童虐待防止対策事業	こども家庭課	54
3	人権講演会(再掲)	北区区民生活課	13
4	あきは未来フォーラム(再掲)	秋葉区区民生活課	10
5	中学生を対象とした人権講話会(再掲)	秋葉区区民生活課	14
6	中学生を対象とした人権講話(再掲)	南区区民生活課	15
7	環境学習(再掲)	保健衛生総務課	83
8	人権講座「不登校の子に寄り添うために家族ができることは？」	坂井輪地区公民館	55
9	人権講座～地域で見守るこどもの人権	西地区公民館	56
10	新潟市子ども条例推進事業	こども政策課	57
11	人権啓発講演会「“SNS・ゲーム”インターネットどこに注意」	北地区公民館	58
12	人権啓発講演会(人権教室)	新津地区公民館	59
13	幼児期家庭教育学級	新津地区公民館	60
14	青少年育成・人権啓発学習会	西川地区公民館	61
11 高齢者に関する人権問題 【第5章の3】			
1	高齢者虐待防止事業	高齢者支援課	62
2	認知症サポーターキャラバン事業	地域包括ケア推進課	63
3	「シロネシネマ喜楽座(人権啓発映画上映)&人権講演会」	白根地区公民館	64
12 障がい者に関する人権問題 【第5章の4】			
1	共生のまちづくり条例関連事業	障がい福祉課	65
2	障がい者就業支援センター事業	障がい福祉課	66
3	農業を活用した障がい者雇用促進事業	障がい福祉課	67
4	障がい者就業能力向上支援事業	障がい福祉課	68
5	新潟市精神医療審査会	こころの健康センター	69
6	精神科病院実地指導	こころの健康センター	70
7	精神障がい者地域移行・地域定着支援事業	こころの健康センター	71
8	発達障がい講座	小針青山公民館	72
9	人権講座「発達障がい？それとも個性？」	中地区公民館	73
10	発達障がいを持つ子どもに対する親の在り方、親のできること	石山地区公民館	74

分野別人権施策の実施状況一覧（令和5年度実績）

施策分野		【計画との対応項目】	
番号	事業名	所管所属名	頁
13 同和問題 【第5章の5】			
1	インターネットモニタリング事業（再掲）	広聴相談課	29
2	「新潟市ミニ人権展」への協力	歴史文化課	75
3	新潟市人権教育研修会（再掲）	生涯学習推進課	6
4	人権教育、同和教育担当者研修（再掲）	学校支援課	16
5	新潟市同和教育研究協議会（再掲）	学校支援課	18
6	新潟県同和教育研究協議会「研究集会」（再掲）	学校支援課	19
7	教職員同和教育研修会（再掲）	学校支援課	20
8	教職員の経験年数に応じた人権教育、同和教育研修会（再掲）	学校支援課	21
9	現地研修（再掲）	学校支援課	22
10	外部講師派遣研修（再掲）	学校支援課	23
11	人権教育、同和教育研修 要請訪問（再掲）	学校支援課	24
12	人権講演会（再掲）	北区区民生活課	13
14 外国籍市民等に関する人権問題 【第5章の6】			
1	多文化共生のまちづくり	国際課	76
2	外国籍市民等及び留学生の支援	国際課	77
15 HIV感染者・ハンセン病患者等に関する人権問題 【第5章の7】			
1	エイズ対策推進	保健所保健管理課	78
2	ハンセン病対策推進	保健所保健管理課	79
16 新潟水俣病に関する人権問題 【第5章の8】			
1	新潟水俣病市民講座①	保健衛生総務課	80
2	新潟水俣病市民講座②	保健衛生総務課	81
3	新潟水俣病職員研修	保健衛生総務課	82
4	環境学習	保健衛生総務課	83
17 北朝鮮当局による拉致被害者やその家族に関する人権問題 【第5章の9】			
1	拉致問題解決に向けた啓発事業	防災課	84
18 LGBTQ等性的マイノリティに関する人権問題 【第5章の10】			
1	性的マイノリティ支援事業	男女共同参画課	85
19 犯罪被害者等に関する人権問題 【第5章の11】			
1	犯罪被害者等支援にかかる庁内連絡会議	市民生活課安心・安全推進室	86
2	市職員等を対象とした犯罪被害者等支援研修	市民生活課安心・安全推進室	87
20 総合的かつ効果的な計画推進に向けて 【第6章】			
1	新潟市人権教育・啓発推進委員会	広聴相談課	88
2	新潟市人権教育・啓発庁内推進会議	広聴相談課	89
3	新潟市同和教育研究協議会（再掲）	学校支援課	18

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権啓発物品の作成、配布 人権啓発リーフレット及び啓発冊子の作成、配布</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 人権啓発クリアファイルおよび人権啓発チラシを作成し、配布することで人権啓発を図る。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 目に留まる、手に取ってもらえるような配布、設置</p>		<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和5年度人権イラスト展で行ったアンケートにおける「人権に対する関心・理解が大変深まった」の割合が59.1%であったため、引き続き啓発を続ける。</p>							
<p>②分野 分野1 市職員に対する人権教育・啓発 分野2 地域社会における人権教育・啓発の推進</p>	<p>事業の対象：職員、市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 759 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 イラスト展では、啓発物を来場者が持ち帰りやすいよう、啓発物をセットにし、専用ファイルに入れるなどの工夫をした。 研修の場では、配布物について内容説明を加えることで、理解が深まるよう工夫した。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
○													
<p>③項目 分野1-1 (再掲)2-1</p>	<p>次のとおり作成し、人権啓発イベントや人権研修の場で配布し啓発を図った。</p> <p>作成数 クリアファイル 1,000部</p> <p>年間配布数 職員人権研修 400セット 人権イラスト展 400セット 他部署人権イベント 100部(クリアファイル)</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 人権相談ダイヤル周知クリアファイル 1,000部を独自に作成</p>									
<p>④所管課 広聴相談課</p>													
<p>⑤令和5年度決算額</p>													
<p>57 千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額</p>													
<p>99 千円</p>				<p>(目標設定) アンケートにおける「人権に対する関心・理解が大変深まった」の割合60%</p>									

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟市人権教育・啓 発推進計画冊子作 成、布</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 令和2年3月に2回目の改訂した新潟市人権教育・啓 発推進計画に沿って市の人権施策が行われることを 市民や職員に知ってもらう。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 令和6年能登半島地震により、計画配布機会が 減少</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 引き続き職員研修、ミニ人権展等で冊子を 配布する。 計画改訂時に新たな冊子を作成する。</p>								
<p>②分野 分野1 市職員に対す る人権教育・啓発 分野2 地域社会にお ける人権教育・啓発 の推進</p>	<p>事業の対象：市民及び職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 職員研修では計画内容の説明を加えながら配布 した。 ミニ人権展では、計画を説明したパネルを設置し た。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野1-2 (再掲)分野2-2</p>	<p>職員向けの人権研修、ミニ人権展(ほんぽーと)で配 布 職員向け人権研修 概要版400部 ミニ人権展 概要版 50部</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ミニ人権展等の機会を通して計画の冊子を市民 に見てもらうことで、人権に関する本市の考え方や 取り組みについての理解を深めてもらうきっかけと なった。</p>									
<p>④所管課 広聴相談課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額</p>											
<p>0 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額</p>											
<p>0 千円</p>			<p>(目標設定) 計画改訂時に新たな冊子を作成し、広く周 知する</p>								

令和5年度実施事業調査票

①事業名 外部研修参加	⑦事業目的・事業の性質 人権啓発団体や関係団体が主催する人権研修に職員を派遣し、職員の人権意識を高める。		⑨令和4年度の課題 コロナ禍であるが、多くの職員が研修参加できるよう努めていく必要がある		⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 引き続き多くの職員が参加できるよう市内職員に参加を促す。 ※オンライン開催により交通費が不要となることが見込まれることから、オンライン講座参加用予算枠を多めに確保した
②分野	事業の対象・職員				
分野1 市職員に対する人権教育・啓発	啓発	研修	相談	その他	⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 人権啓発推進講座や部落解放県研究会等の人権啓発を担当する広聴相談課職員を派遣するとともに、市内職員にも参加を促す。
③項目	⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容				
分野1-3	<p>人権啓発推進講座や部落解放県研究会等の人権啓発を担当する広聴相談課職員を派遣するとともに、市内職員にも参加を促す。</p> <p>第8回就職差別撤廃新潟県集会 2人 部落解放第55回東日本研究会 1人 第4回新潟県人権教育研究会(オンライン) 6人 2023年度人権・同和教育啓発推進講座 越佐にんげん学校(オンライン)全10回 74人 部落解放第39回新潟県研究会(オンライン)26人</p> <p>いのち・愛・人権小千谷展 2人 新潟県人権講演会 1人</p>				
④所管課	⑪令和5年度の成果や実施結果 令和4年度同様、コロナ対策としてオンライン開催が多く参加しやすくなった。				
広聴相談課	(目標設定) 人権リーダー研修 1人 就職差別撤廃新潟県集会 2人 新潟県人権・同和センター研修(オンライン) 80人 越佐にんげん学校講座10回 80人 ※教育委員会分を含まず				
⑤令和5年度決算額	207 千円				
⑥令和6年度予算額	304 千円				

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 窓口職員人権研修</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 窓口担当職員を対象に人権研修を行い、人権意識を高める。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 今後の感染拡大状況によるが、対面での研修のほかオンラインでの聴講も検討し、職員が参加しやすい開催方法を検討する。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 【窓口担当職員人権】 開催日：令和6年度中 対象：市各部局窓口担当職員及び公用請求担当職員 内容：人権を意識した窓口対応について併せて、庁内掲示板において「住民票の写し等の交付に係る本人通知制度」の周知を行う。</p>								
<p>②分野 分野1 市職員に対する人権教育・啓発</p>	<p>事業の対象：市役所各窓口対応職員および公用請求担当職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 実施に至らず。</p>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 実施に至らず。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野1-4</p>											
<p>④所管課 市民生活課</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 研修の準備を行っていたが、能登半島地震の影響により実施困難となったため、庁内掲示板において「住民票の写し等の交付に係る本人通知制度」の周知を行った。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 18千円</p>			<p>(R6目標設定) 定員数に対する参加割合100%</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 市職員に対する人権関係の意識啓発講座</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 新規採用職員、一般職員、係長、管理者向けの研修を通して、人権への意識啓発を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 職務を遂行する中で、研修の成果を活かすことができるよう、研修内容のさらなる拡充を図っていく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 階層別研修において、下記のとおり「人権講座」を実施する予定。(①開催予定日、②講座内容) 【新任職員向け】 ①令和6年4月2日、令和6年6月11日 ②拉致問題について、新潟市における共生社会づくりの取り組み、新潟水俣病について、人権講座(同和問題・LGBT等) 【一般職員向け(概ね3～5年目職員)】 ①令和6年9月3日 ②人権講座(同和問題・LGBT等) 【新任係長向け】 ①(1)令和6年4月15日(2)令和6年9月(予定) ②(1)新潟水俣病について、(2)人権講座(同和問題・LGBT等)※(2)は動画視聴による研修 【新任課長補佐向け】 ①令和6年5月14日 ②男女共同参画社会について 【新任課長向け】 ①(1)(2)令和6年9月(予定) ②(1)障がい等を理由とする差別解消の推進について、(2)人権講座(同和問題・LGBT等)※(1)はeラーニングシステムを活用した研修、(2)は動画視聴による研修 【新任保育士向け】 ①(1)令和6年5月30日(2)令和6年9月(予定) ②(1)拉致問題について、(2)障がい等を理由とする差別解消の推進について ※(2)はeラーニングシステムを活用した研修 (R6目標設定) 引き続き、研修を通して人権への意識啓発を図る。</p>								
<p>②分野 分野1 市職員に対する人権教育・啓発</p>	<p>事業の対象: 令和5年度新規採用職員、概ね採用後3～5年目職員、新任係長、新任課長補佐、新任課長、新任保育士</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 研修の一部について、令和4年度から本格運用を開始したeラーニングシステムの活用により実施した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○										
<p>③項目 分野1-5</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 新任職員研修、採用3～5年目の一般職員向け研修、新任係長研修、新任課長研修の中で、広聴相談課職員が講師を務める「人権講座(本市の人権計画、同和問題、LGBTについて)」を実施し、さまざまな人権問題があることを理解するとともに、「人権」に配慮した業務遂行への意識を醸成した。</p>										
<p>④所管課 総務部人事課</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 新任職員研修、採用3～5年目研修、新任係長研修、新任課長研修の中で、人権に関する内容を取り扱うことで、市職員としての人権意識の醸成と定着を図ることができた。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額</p>	0千円										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	0千円										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟市人権教育研修会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 市民一人一人の人権が尊重され、偏見や差別を生み出さない社会の実現のため、研修会を通じて職員が人権問題等に関心を持ち、理解と認識を深めることで、市民のよき相談役・パートナーとしての資質向上を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 職員の人権問題や同和問題に対する意識を把握しながら、全ての職員が確実に理解と認識を深めていく研修を継続的かつ効果的に取り組む必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○新潟市人権教育研修会 ・日時・テーマ・講師、未定 ・研修方法 オンライン形式 ○人権パネル展を通じ、生涯学習における人権教育・啓発の取り組みを周知</p>								
<p>②分野 分野1 市職員に対する人権教育・啓発 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：市行政職員、教職員、市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧ 令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩ 令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 研修をオンライン形式とすることで、参加職員が効果的かつ効率的に人権問題について認識と理解を深めていく機会となった。 研修会の見逃し配信を実施することにより、当日参加できなかった職員も、後日研修を受講できるようになった。また、学校教職員では、校内研修で活用することもできた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○										
<p>③項目 分野1-6 (再掲)分野13-3</p>	<p>○新潟市人権教育研修会 ・日時 令和5年11月6日(月)14:30～16:30 ・研修方法 オンライン形式 ・テーマ「差別の現実深く学ぶ～差別に負けない生き方を仲間とともに～」 ・講師 新井久美子氏(新潟県立高田農業高等学校教諭) ・対象 行政職員(市長部局・教育委員会事務局)、教職員</p>	<p>⑪ 令和5年度の成果や実施結果 ○新潟市人権教育研修会 ・参加職員数 386人 ・アンケート結果 「人権問題への理解・認識が深まった」と回答した職員の割合 97.3% ○人権パネル展を通じ、生涯学習における人権教育・啓発の取り組みを周知した。</p>									
<p>④所管課 生涯学習推進課</p>	<p>○人権パネル展への協力 生涯学習における人権教育・啓発に係るパネル展示</p>										
<p>⑤ 令和5年度決算額</p>	<p>4 千円</p>										
<p>⑥ 令和6年度予算額</p>	<p>13 千円</p>										

令和5年度実施事業調査票

①事業名 江南区・秋葉区 合同人権研修	⑦事業目的・事業の性質 あらゆる場面で人権尊重の視点を持ち、自ら考え行動 することができるよう、職員資質のさらなる向上を目的 として実施するもの。		⑨令和4年度の課題 ・対面研修としたため、機会が限定的で、秋葉区 職員は移動の時間もかかり、受講者の拘束時間 が長くなってしまった。		⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 江南区と秋葉区で1年ごとに企画主体が変 わる事業であり、令和6年度は江南区が主 体となる。
②分野 分野1 市職員に対す る人権教育・啓発	事業の対象：江南区・秋葉区各所属の職員		⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・受講しやすいよう動画視聴による研修とした。		
③項目 分野1-7	啓発	研修	相談	⑪令和5年度の成果や実施結果 ＜アンケート結果＞回答者20名 回答率66.7% 【問】受講して、人権について関心や理解が深まった か？ ・深まった 12人 ・やや深まった 8人 【問】研修内容は、仕事やこれからの生き方などに役立 つと思うか？ ・役立つ 15人 ・やや役立つ 14人 ・あまり役立たない 1人 【自由意見】 ・「市役所の業務はすべて人権に結びつく」という言葉が 印象的。視野を広く持ち人権意識を高めていきたい。	(R6目標設定) 上記のとおり実施する
④所管課 秋葉区地域総務課	⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 下記のとおり実施 ＜研修内容＞ 「人権講座～本市の人権計画、同和問題、LGBTIにつ いて～」 ※R5新任職員研修で実施した人権講座を録画した 動画の視聴による研修				
⑤令和5年度決算額 0千円	【視聴可能期間】令和6年2月1日～16日 【参加人数】30人 【講師】市民生活部広聴相談課人権担当職員				
⑥令和6年度予算額 0千円					

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 西区職員研修 子どもの権利を守るた め～新潟市子ども 条例の施行とこれか ら～</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 業務を行うにあたり人権尊重の視点をもち、自ら考え 行動できるよう職員 資質のさらなる向上を図る。 新潟市子ども条例及び子どもの権利について正しい 知識を学ぶことにより適切な対応ができるよう研修 を行った。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 令和3年度から研修として扱っていたLGBT、子 どもの人権(ヤングケアラー)のうち、LGBTIについ ては実施できた。次は子どもの人権についてを扱 いたい。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和5年度に実施できなかった左記研修を 実施する。</p>								
<p>②分野 分野1 市職員に対す る人権教育・啓発</p>	<p>事業の対象：西区役所や出張所等の職員(22条職 員・会計年度任用職員含む)</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <th data-bbox="619 1532 667 1688">啓発</th> <th data-bbox="619 1375 667 1532">研修</th> <th data-bbox="619 1227 667 1375">相談</th> <th data-bbox="619 1066 667 1227">その他</th> </tr> <tr> <td data-bbox="667 1532 759 1688">○</td> <td data-bbox="667 1375 759 1532">○</td> <td data-bbox="667 1227 759 1375"></td> <td data-bbox="667 1066 759 1227"></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 令和6年能登半島地震の影響で中止</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○										
<p>③項目 分野1-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 令和5年度の西区職員研修の一環として下記の通り 実施する予定であったが、令和6年能登半島地震の 影響で中止となった。 【実施する予定だった研修概要】</p>										
<p>④所管課 西区役所総務課</p>	<p>○ 開催日 令和6年1月23日(火) ○ 会場 西区役所4階 対策室 ○ 内容 子どもの権利を取り巻く状況 新潟市子ども条例の概要 子ども条例施行に伴う新潟市の取り組 み ○ 講師 新潟市子ども未来部こども政策課 吉岡 直 氏</p>	<p>①令和5年度の成果や実施結果 令和6年能登半島地震の影響で中止</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 0 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0 千円</p>			<p>(R6目標設定) 上記のとおり実施</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 消費者被害の防止に向けた取組</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 消費者全般、とりわけ高齢者及び若者の消費者被害の防止に取り組む。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ○見守りネットワーク活動として、地域包括支援センター、民生委員児童委員、社会福祉協議会、警察署等、各関係機関との連携を更に進める必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○引き続き、各講座の開催や資料配布・配信により、高齢者・若者をばじめとして市民ひとりひとりが自主的で健全な消費生活を営むために必要な知識を習得する機会、及び情報を提供する。 ○高齢者等の消費者被害の未然防止のため、見守りネットワーク活動として、地域の関係機関との連携を更に進める。今年度は各区の地域包括支援センターを中心に関係機関との情報共有、意見交換を行う。</p>							
<p>②分野 分野2 地域社会における人権教育・啓発の推進</p>	<p>事業の対象：一般消費者</p> <table border="1" data-bbox="614 1227 758 1848"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ○見守りネットワークの実効性を高めるため、各区を総括する組織に働きかけするなど、関係機関との連携を密にし、区ごとに地域に根差した組織の構築に努めた。</p>
啓発	研修	相談	その他									
○												
<p>③項目 分野2-3</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p> <p>○消費者啓発講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一般向け <ul style="list-style-type: none"> ・くらしの一日教室(開催回数:7回) ・出前くらしのテスト教室(12回) ②高齢者向け <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座(市政さわやかトーク宅配便)(18回) ③若者向け <ul style="list-style-type: none"> ・大学新入生ガイダンスでの出前講座(1回) <p>○注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者悪質商法被害防止共同キャンペーン ・各種注意喚起のリーフレット、啓発用冊子の配布 			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○報道等で消費者トラブルが取り上げられ、関心が高まっていることもあり、それらに対応するため啓発講座の開催数も増えてきている。(さわやかトーク宅配便:「だまされないで!! 悪質商法」R3年度10回開催、R4年度15回開催、R5年度18回開催) ○7区の社会福祉協議会との連絡会に参加し、見守りの必要性を説明。高齢者等の消費者被害防止に向けた情報提供・意見交換を行った。身近な問題として、消費生活相談の掘り起こしに繋がっている。</p>								
<p>④所管課 市民生活課 消費生活センター</p>	<p>○見守りネットワークとして関係団体合会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7区で関係団体の会議に参加 			<p>(R6目標設定) ○高齢者や若者向けまで各種テーマ(悪質商法や契約等)による啓発講座の開催数22回を目指す。 ○見守りネットワーク構成団体関係者との意見交換会で各区年1回開催を目指す。</p>								
<p>⑤令和5年度決算額</p>	<p>1,251 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額</p>	<p>1,662 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 あきは未来フォーラム (秋葉区青少年健全 育成・人権啓発・安 心安全社会推進大 会)</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 子どもの人権について考える機会を提供することを目的とする。</p>		<p>⑨令和4年度の課題 児童・生徒を持つ保護者からの参加が少なかつたことから、次年度の効果的なPRの検討が必要。</p>		<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○あきは未来フォーラムの開催 開催日:令和6年11月9日(土) 会場:秋葉区文化会館 ホール 内容:人権に関する講演 人権啓発ブースの設置 啓発パンフレット等の配布 講師:碓井真史氏(予定) 参加予定人数:200人</p>							
<p>②分野 分野2 地域社会における人権教育・啓発の推進 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象:中学生及び保護者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 令和4年度の課題でもあった効果的なPRについて、市報への掲載、FM新津、関係団体への周知以外に、新たに各地区のコミュニティセンターや区自治協議会等への配布を行った。</p>	
啓発	研修	相談	その他									
○												
<p>③項目 分野2-4 (再掲)分野10-4</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 開催日:令和5年11月3日(金・祝) 会場:秋葉文化会館 内容:人権に関する講演会・啓発物品の配布 講師:三宅 晶子氏 人によさしい社会を目指して ～Chance!!が繋ぐ刑務所と社会～ 参加人数:184人</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 講演日は祝日の秋晴れに恵まれたこともあり、予定の参加者数200人を下回った。しかし、講演会後のアンケートでは「偏見のない優しい社会。広く人権意識を高めていきたい。」「想像力、応援、優しい社会。講師からの明日はわが身、自分事として考えるの言葉が印象的だった」などの感想が寄せられた。また、9割以上の方が、今後も人権を学ぶ講演会を行った方が良い」と回答している。このことから有意義な講演会であり、本事業の目的は達成されたものと考ええる。</p>									
<p>④所管課 秋葉区民生生活課</p>			上記のとおり実施する。									
<p>⑤令和5年度決算額 100 千円</p>												
<p>⑥令和6年度予算額 100 千円</p>												

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権イラスト展</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 市内小学4年生を対象に、「人権の大切さ」をテーマにイラスト作品を募集するもの。入賞作品は市内施設で展示し、広く市民から鑑賞してもらい、人権への関心を高めてもらう。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 より多くの人に見てもらえるよう新規展示会場の確保</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○展示会場は令和5年度と同様の会場を確保している。それ以外にも、新規会場確保について引き続き検討中。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象：市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1848"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 令和6年能登半島地震の影響により、展示スペースが使えない会場があり、急遽臨時スペースを確保し、全ての会場で展示を行った。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
○													
<p>③項目 分野3-1 (再掲)分野10-1 (その他)分野2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 応募期間：令和5年6月16日(金)～9月6日(水) 応募条件：市内小学4年生 応募内容「人権の大切さ」をテーマにしたイラスト作品 表彰数：金賞1、銀賞3、銅賞6、奨励賞40 展示状況： ・金銀銅奨励の50作品を展示 ・観覧者にアンケート協力を依頼するとともに、人権に関する展示や、人権啓発パンフ等を持ち帰ってもらうようにした。</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 展示期間に令和6年能登半島地震が発生し、周知等が難しかった</p>									
<p>④所管課 広聴相談課</p>	<p>アンケート、パンフレットセット配布数327セット アンケート回収数89 巡回展示の会場、日程 日程：R5.11.25～R6.2.29の期間に各会場を巡回展示</p>												
<p>⑤令和5年度決算額 966 千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額 1,206 千円</p>	<p>会場：①巻地区公民館②東区役所③新津地域交流センター④ほんぼーと⑤北区役所⑥西新潟市民会館 ⑦市役所本館</p>				<p>(目標設定) 会場アンケートにおいて、「人権に対する関心、理解が大変深まった」の割合を60%</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 保育施設等職員の人権研修</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 私市立保育施設職員を対象に、こどもの人権についての研修を行い、人権を重んじる保育実践について広く啓発する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・運営主体や施設種類にかかわらず、すべての保育施設職員に、人権を重んじる保育実践を広く啓発する必要がある。 ・不適切保育の防止に向け、研修と保育実践の語り合いを継続して実施する必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・保育において、こどもの人権への配慮と一人一人の人権の尊重を全ての基本にすること。 ・引き続き、こどもの人権、保育の振り返り、特別な支援が必要なこどもの保育、地域の連携等について、研修を実施する。 ・区での研修においては、私市立の保育施設合同での語り合いを行う。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進</p>	<p>事業の対象：私市立保育施設の職員</p> <table border="1" data-bbox="603 1261 730 1861"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 (1)不適切保育の防止については、適切な保育を考える観点で実施した。また、研修会の後には、各区で語り合いなどによる事後研修を実施した。 (2)(3)市立施設職員向けの研修では、民間団体から講師を招き、多角的な視点を得られるようにした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野3-2</p>	<p>(1)保育関係施設合同研修会(不適切保育防止)実施(オンライン) 令和5年7月5日(水) 講師：新潟県立大学 教授 小池由佳氏 演題：適切な保育を守る～私たちが「保育者」であるために～ 参加施設：187施設 参加人数：280名 (2)市立保育施設長研修会実施 令和5年10月11日(水) 講師：フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 中島早苗氏 演題：こどもの人権を保育に活かすために 参加人数：園長88名、保育課3名、区指導保育士9名、計100名 (3)市立保育施設主任保育士研修会実施 令和6年1月25日(木) 講師：CAPIにいがた 演題：人権教育プログラム おとなワークショップ～生きる権利を考える～ 参加人数：主任保育士79名、保育課3名、指導保育士6名 計88名</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 (1)研修の事後アンケートおよび事後研修において、職員の前向きな受け止めや、よりよい保育の実施に繋がったとの意見が多数あった。 (2)(3)研修で人権への知識・理解が深まったという意見や感想が多くあり、人権を重んじる保育について保育現場の理解が広がっている。</p>									
<p>④所管課 幼保支援課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>			<p>(R6目標設定) 研修、保育実践の語り合いともに、年間複数回実施する。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権講演会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 高校生を対象とした人権講演会を開催することで、他人を思いやる心の育成を図る。ジェンダー平等をテーマとすることで男女平等の理解、関心を高める。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 令和4年度講演会参加者のアンケートでは、今後講演会を開催するべきという意見が8割以上あったことから、継続していくことが望ましい。テーマや講師選定にあたっては、高校や人権擁護委員協議会と連携しながら検討していく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 人権講演会の開催 実施年月日:令和6年11月20日(水) 講師:小野郁夫氏(元中学校長) 講演題目:「インターネット利用における人権問題(仮)」 開催場所:新潟県立豊栄高等学校</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象:高校生及び保護者、一般市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 762 1845"> <tr> <td data-bbox="619 1384 667 1845">啓発</td> <td data-bbox="619 1227 667 1384">○</td> <td data-bbox="667 1384 715 1845">研修</td> <td data-bbox="667 1227 715 1384"></td> <td data-bbox="715 1384 762 1845">相談</td> <td data-bbox="715 1227 762 1384"></td> <td data-bbox="762 1384 810 1845">その他</td> <td data-bbox="762 1227 810 1384"></td> </tr> </table> <p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 講師との事前打合せから人権擁護委員に関わってもらい、講演会当日も受付や講話等、様々な形で関わってもらったことができた。 講演会終了後に、講師と校長及び教頭、人権擁護委員、区役所職員で意見交換を行い、理解を深めることができた。</p>			啓発	○	研修		相談		その他		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 男女平等について詳しい新潟県女性財団の理事長に講演してもらったことで、高校生にとって理解しやすい講演となった。その結果、講演会後のアンケートで自由記載欄に感想等が書かれたものが多くみられた。</p>	<p>(R6目標設定) アンケートにおける「人権」に対する関心・理解が大変深まった」「まあ深まった」の割合を90%程度またはそれ以上になるようにしたい。</p>
啓発	○	研修		相談		その他							
<p>③項目 分野3-3 (再掲)分野10-3</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 人権講演会の開催 実施年月日:令和5年11月15日(水) 講師:島山典子氏(公益財団法人新潟県女性財団理事長) 講演題目:「ジェンダー平等社会を目指して」 対象者:高校生及び保護者、一般市民 参加人数:131人 開催場所:新潟県立豊栄高等学校 配布物:リーフレット「あなたの街の相談パートナー権擁護委員」 啓発グッズ:人権啓発用クリアファイル</p>												
<p>④所管課 北州区民生活課</p>													
<p>⑤令和5年度決算額 3千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額 20千円</p>													

令和5年度実施事業調査票

①事業名	⑦事業目的・事業の性質			⑨令和4年度の課題	⑫令和6年度の事業予定(目標設定)
中学生を対象とした 人権講話会	中学生が人権問題について気付き、考える機会を提 供することを目的とする。			秋葉区の全中学校での開催を予定していたが、1 校だけ学校授業等により都合がつかず開催ができ なかった。	○計画 開催日：令和6年6月～8月 会場：秋葉区内6中学校 内容：人権に関する講話 参加予定人数：延べ2,000人
②分野	事業の対象：中学生			⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点	
分野3 学校における 人権教育の推進	啓発	研修	相談	令和4年度の講演で生徒から高評価であった講 師を再度選定したほか、学校からの人権講話要 望を受け、希望に沿った講師を選定することがで きた。	
分野10 子どもに関す る人権問題	○				
③項目	⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容				
分野3-4 (再掲)分野10-5	中学生人権講話会の開催 開催日：令和5年5月25日～6月30日 会場：秋葉区内5中学校 内容：人権に関する講話 講師：外部講師 参加生徒人数：1,400人				
④所管課				⑪令和5年度の成果や実施結果	
秋葉区 区民生活課				差別やインターネットによるいじめ等を題材した講 演会を実施。腹話術を利用した人権講話では生 徒から「差別や偏見はあってはならないもの。お互 いを認めなくてはいけない。」等の感想があった。 講話後のアンケート(調査対象校1校87人)の調 査は次のとおり。 ・人権講話の内容は満足はいくもでしたか よかった 66.7% ふつう 33.3% ・講演会に参加して何か行動しようと思いましたか 思った 92.2% 結果からも、有意義な講演会であり本事業の目的 は達成されたものと考ええる。	(目標設定) アンケートにおける人権講話の内容の満足 度の割合を80%以上。
⑤令和5年度決算額					
44 千円					
⑥令和6年度予算額					
61 千円					

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 中学生向け人権講演会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 中学生が自他の生命を尊重する心、立場や文化の違い人たちとも協調し他を思いやる心、美しいものや自然に感動する心など豊かな心の育成を図ることを目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 中学校の教職員や保護者に理解と協力が得られるよう、学校側に対して事前に十分な説明と協議が必要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 開催日:令和6年6月28日(金) 会場:新潟市立月潟中学校 対象:全学年生徒 内容:人権講話(演題「生きとし生けるものが幸せでありますように」) 講師:久昌寺住職 中野睦宗氏</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象:南区内の中学生、教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 中学校の担当教員のほか、教頭、校長へ十分に事前協議と打ち合わせを行った。</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 事業実施後、参加者へのアンケートにおいて、「人権について、どのくらい興味・関心がありましたか」の問いに、「まったくなかった」や「少しはあった」と回答した人のうち、94.6パーセントが講演会について「大変満足」または「まあ満足」と回答しており、事業の成果が顕著に表れた結果となった。</p>	<p>開催日:令和6年7月10日(水) 会場:新潟市立味方中学校 対象:全学年生徒 内容:人権講話(演題「多様性って何だろう」) 講師:JICA新潟デスク 中村史氏</p>
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野3-5 (再掲)分野10-6</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 人権講話①:演題「デジタルウェルビーイングしてる?」 講師:大久保真紀氏 開催日:令和5年7月7日(金) 開催校:市立月潟中学校 対象:全学年生徒(参加者:生徒78名ほか教職員) 人権講話②:演題「ステレオタイプを無くするには教育が必要」 講師:金子クレア氏 開催日1:令和5年7月11日(火) 開催校1:市立白根第一中学校 対象:1学年生徒(参加者:生徒98名ほか教職員) 開催日2:令和5年7月13日(木) 開催校2:市立味方中学校 対象:全学年生徒(参加者:生徒94名ほか教職員)</p>										
<p>④所管課 南市区民生活課</p>	<p>3校合計生徒参加者:270名</p>										
<p>⑤令和5年度決算額</p>	<p>39 千円</p>										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	<p>100 千円</p>										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権教育、同和教育 担当者研修</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・市立学校園の人権教育、同和教育担当者を対象に、人権教育、同和教育の進め方に関する研修を目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ・令和2年に行われた人権教育、同和教育に関する教職員意識調査の結果を踏まえ、各学校園の教職員の意識向上を図ることができるよう、研修内容を検討していく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・今年度は、年度初めにオンラインで研修を加え、これまで行ってきた11月の研修とともに、内容を充実させる。 ・オンラインで配信し、研修に参加しやすいようにする。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における 人権教育の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：新潟市立学校園の人権教育、同和教育担当者 <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </p>			啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・オンラインで実施した。 ・生涯学習センターと市同教と共催で実施した。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
	○												
<p>③項目 分野3-6 (再掲)分野13-4</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 開催日：令和5年11月6日(月) 実施：オンライン 講演：「差別の現実に住ぶ～差別に負けない生き方を仲間とともに～」 講師：新井 久美子 様(県立高田農業高等学校教諭)</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・昨年度の教職員アンケート結果を踏まえ、今年度の研修テーマを「同和問題」に設定した。実施後アンケートでは下記の通りの結果となった。 ・研修会に参加して人権問題への理解や認識が「深まった」と回答した教職員が100%。</p>	<p>(目標設定) 研修会に参加して人権問題への理解や認識が深まりましたか。の質問項目について「深まった」と回答する教職員を100%にする。</p>								
<p>④所管課 学校支援課</p>													
<p>⑤令和5年度決算額 0 千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額 0 千円</p>													

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 情報モラル指導</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・各学校・園の教員に、情報モラル教育について研修を する機会を提供することを目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ・本研修会については、演習も予定していることから、感 染症対策等を図り、対面での実施を基本とする。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・今年度も演習を取り入れて、研修に参加した教職員が、自 校で実践に取り入れていく。 きたいと思えるような内容を検討していく。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における 人権教育の推進</p>	<p>事業の対象：新潟市立学校の教職員</p> <table border="1" data-bbox="370 1227 549 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・各校で起こる問題への対応だけでなく、未然防止の視 点を大切にした研修を行った。具体的には、演習として、「指 導計画の対応例の作成」を行った。各校の取組事例につ いて情報交換を行う時間を設けた。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
	○												
<p>③項目 分野3-7 (再掲)分野7-2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 開催日：令和5年6月28日(水) 会場：新潟市立総合教育センター 対象：市立学校・園の教員94名(小学校60名、中 等教育学校2名、特別支援学校1名、高等学校4名、中 等教育学校2名、幼稚園2名) 講義：情報モラル教育のための、GIGAワークブック活 用方法 演習：GIGAワークブックの活用 講師：LINEみらい財団・総合教育センター指導主事</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・研修後のアンケート調査は次の通りである。 (項目1) 本講座で学んだことをこれからの日々の授業で使 ってみたいと思えますか。肯定的評価 87.7% (項目2) 本講座内容や研修方法に満足できましたか。肯 定的評価 87.7% 以上の結果から、研修に対して概ね満足した様子 がうかがえた。</p>	<p>(目標設定) 研修後のアンケート調査で、「本講座で学んだことをこれからの日々の授業で使 ってみたいと思えますか」の項目で、肯定的評価が90%以上になる。</p>								
<p>④所管課 学校支援課</p>													
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>													

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟市同和教育研究協議会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、真に人権尊重の社会を実現するために、同和教育に関する研修、啓発及び実践を推進する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・レポート検討会は、実施方法の工夫を図り、さらに充実させていく。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・令和2年度までは生涯学習センターの事業に共催する形で管理職対象に研修を実施してきたが、令和6年度も、新潟市同和教育研究協議会独自で研修会を実施する。 ・研修会を、令和2年実施の人権教育、同和教育に関わる教職員意識調査の結果を踏まえた内容として、全中学校園の管理職対象に実施する。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野13 同和教育</p>	<p>事業の対象：新潟市立学校園教職員、新潟市行政職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・対面での研修を増やし、意見交流の場を確保し内容を充実させた。 ・レポート検討会は、他団体の同様な事業を参考に改善した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>分野20 総合的かつ効果的な計画推進に向けて</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>										
<p>③項目 分野3-8 (再掲)分野13-5 (再掲)分野20-3</p>	<p>【管理職研修会】 開催日時：令和5年6月30日(金) 14:00～15:30 会場：江南区文化会館音楽演劇ホール 講師：上越地区社会教育委員連絡協議会長 保坂 和彦 様 演題：「正しく理解し、差別をなくす」 参加人数：180人</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・校園長をはじめとする教職員が、人権問題、同和教育に関心をもち、理解と認識を深め、勤務校での授業実践の改善や教職員の資質向上が図られる研修会となった。 ・事後アンケート、「研修会をとおして、人権問題、同和教育への理解や認識が深まりましたか。」の項目において、「深まった」との回答が94.6%。</p>									
<p>④所管課 学校支援課</p>	<p>【レポート検討会】 市内の小中学校、中学校、幼稚園、高等学校での人権教育、同和教育に関する実践をレポートにまとめ、その内容を検討する。 回数 随時</p>										
<p>⑤令和5年度決算額</p>	50 千円										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	86 千円										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟県同和教育研究協議会「研究会」</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・学校教職員の人權教育、同和教育への知識と指導力向上のための研修を目的とする。</p>		<p>⑨令和4年度の課題 ・オンラインを含め、できるだけ多くの参加者のもとで研究会を実施する。</p>		<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・今年度は三条市大会となり、7月31日に予定されている。1000人規模の研究集会を実施する予定。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における 人權教育の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：新潟市立学校の教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・対面参加の他にオンライン参加を促したところ、校内研修として大人数で講演会を視聴する学校園が増加した。そのことにより、参加者が大幅増となった。 ・駐車場の問題がありバスを手配した。</p>		
啓発	研修	相談	その他										
	○												
<p>③項目 分野3-9 (再掲)分野13-6</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 新潟県同和教育研究協議会主催第30回研究会 期日：令和5年8月1日(火) 会場：見附市 対象：市立全学校・園の教職員(971名) 対面：23名 オンライン148校948名 内容：①講演会 ②分科会による講座</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・「かかわる同和教育」では、部落差別をはじめとする様々な差別の現実から学び、同和教育にかかわる者の自己変革を促すことを大切にしている。 ・講演会や分科会を通して、参加者は「かかわる同和教育」の大切さを実感することができた。</p>		<p>(目標設定) 新潟市から、各校園1名以上の教職員の参加を募る。</p>								
<p>④所管課 学校支援課</p>													
<p>⑤令和5年度決算額</p>	402 千円												
<p>⑥令和6年度予算額</p>	409 千円												

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 教職員同和教育研修会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・学校教職員の同和問題についての理解を進め、事項の同和教育の実践に生かすことを目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・多くの学校園が活用できるように、参加促進の試みを検討をしていく。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・令和6年度もオンライン開催(全10講座)となったことから、各校園1名以上の参加を呼びかける。※希望により定員内の対面参加も可能となった。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：新潟市立学校の教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・全11講座をすべてオンライン配信を行うことで、従来より研修に参加しやすくなり、参加者が増加した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野3-10 (再掲)分野13-7</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 開催日：7月～10月まで 方法：全11講座からなる研修のオンライン配信 対象：新潟市立全学校の教職員 内容：新潟県人権・同和センター主催の越佐にんげん学校への参加。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・オンライン開催となったことから、校内研修に活用したケースもあり、より多くの教職員が研修を受講することができた。</p>									
<p>④所管課 学校支援課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額</p>	338 千円										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	352 千円										
			<p>(目標設定) ・新潟市立学校園から、1名以上が参加する。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 教職員の経験年数に応じた人権教育、同和教育研修会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・初任者、中堅研修対象者に、人権教育、同和教育の基礎・基本や今日的課題等に関する研修を目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・令和2年実施の教職員意識調査の結果において、人権教育、同和教育に関わる意識の低下が見られることから、特に若年層を対象とした本研修が有効なものになるよう内容を吟味していく。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・今年度も引き続き、中堅研修はオンデマンド配信を行う。 ・初任者研修は対面で行い、意見交換や演習を内容に盛り込んで実施する。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：新潟市立学校の教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1843"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・中堅教員を対象とした研修を、オンデマンド配信とし、初任者研修をオンライン研修とした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野3-11 (再掲)分野13-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>										
<p>④所管課 学校支援課</p>	<p>①対象：市立学校・園の中堅研修受講教員 方法：受講者に対して、オンデマンド配信 内容：講義「新潟市の人権教育、同和教育」 講師：学校支援課指導主事 ②対象：市立学校・園の初任者研修受講教員 開催日：令和5年7月11日(火) 方法：オンライン研修 内容：講義「人権教育、同和教育の基礎・基本」 講師：学校支援課指導主事</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・初任者研修はオンラインで研修を行った。基本的な内容をきちんと伝えることができ、「理解が深まった」と回答する参加者が多かった。しかし、「意見交流や情報共有、演習」を望む声も聞かれた。</p>	<p>(目標設定) 同和教育への意識改革、並びに授業力向上に焦点を当てた研修内容を検討する。</p>								
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 現地研修</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・同和問題と関わってきた地域を訪問し、同和問題の歴史や今日の課題等に関する研修を目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ・長いコロナ禍が明けたことによる、参加校・参加者数増のための取組が課題である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・市立学校園に対し、「新発田隣保館」で行われる現地研修の内容・効果について周知し、参加校・参加者が増加することを目指す。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：新潟市立学校園の教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 学校支援課で希望校園の集約を行い、研修会場となる「新発田隣保館」と日程調整を図った。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
	○												
<p>③項目 分野3-12 (再掲)分野13-9</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 対象：希望する市立学校園教職員 会場：新発田市隣保館 講師：隣保館職員 東特別支援学校：8名、亀田東小学校：20名、沼垂小学校：10名、葛塚東小学校：40名から希望があった。</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・新発田隣保館において、人権問題、同和問題解消に向けて取り組んできた方から学ぶことで、教職員一人一人が差別意識を見つめ人権確立の理解と認識が深まり、日常の人権教育、同和教育への実践意欲が高まった。</p>	<p>(目標設定) 昨年度希望のあった申込数(4校)を上回る。</p>								
<p>④所管課 学校支援課</p>													
<p>⑤令和5年度決算額</p>													
<p>0千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額</p>													
<p>0千円</p>													

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 外部講師派遣事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・人権教育、同和教育の校内研修会に、人権問題、同和問題解消に向けて取り組んできた方を講師として派遣し、学校教職員の人権教育、同和教育の意識を高めることを目的とする。</p>		<p>⑨令和4年度の課題 ・令和3年度以降予算減となった。募集予定数を上回った場合には、年次計画により、できるだけ多くの教職員の人権教育、同和教育への理解が一層深まるように、新規に申込みのあった中学校区を優先とする。</p>		<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・人権教育、同和教育の校内研修会向けに、外部講師を派遣する。 ○対象:学番偶数番の中学校区の市立学校園の希望する10校園(中学校区)を予定 ○内容:人権教育、同和教育に関わる講演等</p>							
<p>②分野 分野3 学校における人権教育の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象:新潟市立学校園の教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・より多くの中学校区の教職員から研修を受けてもらうために、謝礼と交通費を考慮した外部講師選定を、新潟県人権・同和センターと協力して行った。</p>	
啓発	研修	相談	その他									
	○											
<p>③項目 分野3-13 (再掲)分野13-10</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 ・対象:学番偶数番の中学校区の市立学校園の希望する8中学校区(光晴中学校区・木戸中学校区・亀田西中学校区・新津第二中学校区・白根第一中学校区・白根北中学校区・五十嵐中学校区・西川中学校区・中之口中学校区) ・内容:人権教育、同和教育に関わる講演等</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・人権問題、同和問題解消に向けて取り組んできた方から学ぶことで、教職員一人一人が差別意識を見つめ人権確立の理解と認識が深まり、日常の人権教育、同和教育への実践意欲が高まった。</p>									
<p>④所管課 学校支援課</p>	<p>・その他:講師8名の内、県内の教職員4名を指導者として招聘した際には、謝礼は支払わず交通費のみ支払った。</p>		<p>(目標設定) ・各校からの要望(研修テーマ)に応じて調整を行い、講師を派遣する。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額</p>	<p>75 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額</p>	<p>75 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権教育、同和教育 研修 要請訪問</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・各中学校からの要請を受け、人権教育、同和教育の研修会に教育委員会職員を講師として派遣すること、人権教育、同和教育に関する実践的な力を高めることを目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・令和2年に行われた人権教育、同和教育に関する教職員意識調査の結果を踏まえ、各中学校の教職員の意識向上を図れるよう、研修内容を検討していく。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・今年度も同様に実施。</p>								
<p>②分野 分野3 学校における 人権教育の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：新潟市立中学校の教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・令和2年に実施した「人権教育、同和教育教職員意識調査」の結果を踏まえ、全年齢層のニーズにできるだけ対応した研修を実施できるよう、昨年の実施後アンケートを参考に研修内容を構成した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野3-14 (再掲)分野13-11</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 ・教職員一人一人が差別意識を見つめ人権確立の理解と認識が深まり、日常の人権教育、同和教育への実践意欲が高まった。 ・14中学校区(中学校単独含む)で実施。</p>										
<p>④所管課 学校支援課</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・令和4年度の要請件数とほぼ同数の各中学校、または各中学校区での研修を実施することができた。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>			<p>(目標設定) ・要請のあったすべての中学校の研修会に参加し、研修を行う(実施率100%)。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 研修・講演 講師紹介ガイド</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 市民の多様な学習活動や地域課題等の解決を支援するため、講師・指導者等に関する情報を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 人権教育・啓発は関係機関・団体と連携しながら取り組むものであり、今後にも人権問題・同和問題に関する情報収集と整理を行い、積極的に発信する必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○引き続き、以下の取り組みにより人権教育・啓発に関する情報提供を実施予定 ・関係機関等と連携した「研修・講演 講師紹介ガイド」の有効活用 ・広域都市圏内の7市との連携による「研修・講演 講師紹介ガイド」の相互利用</p>								
<p>②分野 分野4 生涯学習における人権教育・啓発の支援</p>	<p>事業の対象：市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 広域都市圏内の7市と連携し、「研修・講演 講師紹介ガイドブック」を相互利用できる環境を整えたことで、広域的に人材情報を活用できた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野4-1</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 ○研修・講演 講師紹介ガイドの発行 ・目的：講師等をまとめた紹介ガイドブック(講師リストの情報提供)を活用することで、市民の生涯にわたる多様な学習活動や地域課題等の解決を支援する ・提供方法：関係機関(行政機関、公民館、図書館、学校等)へ配布、ホームページ、広域都市圏の7市との連携による相互利用</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 広域都市圏7市と連携して広域的に活用した</p>									
<p>④所管課 生涯学習センター</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>			<p>(R6目標設定) 上記のとおり実施</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 市民活動支援センターの管理運営</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 市民が公益的な活動を行うための活動拠点として設置した市民活動支援センターを通じて、市民公益活動を支援する。 ※市民活動支援センターの管理運営を「新潟市市民活動支援センター運営協議会」に委託</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・アフターコロナを見据え、センターの利用者や主催事業への参加者の増加に向けた広報に取り組み。 ・引き続き、サポーターパートナーとの連携強化・中間支援機能の拡充に取り組む。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・運営主体のスキルアップや相談事業の充実を図るとともに、中間支援機能の強化を図る。 ・市民公益活動に関する情報交換、他団体との交流機会の提供など、センターのサポート機能であるサポーターパートナーとの連携を強化し、拡充を図る。</p>								
<p>②分野 分野5 民間団体における人権教育・啓発の支援</p>	<p>事業の対象：公益活動を行う市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>・情報の収集、提供 ・活動、交流の場の提供</td> </tr> </table> <p>⑧ 令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他			○	・情報の収集、提供 ・活動、交流の場の提供	<p>⑩ 令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・センターの利用者増加に向けて、セミナー等の主催事業を市報にいがたに掲載するなど広報を強化した。 ・主催事業の開催規模を拡大した。(ルフルdeニコットランド、つながる交流会など) ・サポーターパートナーとの連携事業を増やし、団体の交流を促進した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
		○	・情報の収集、提供 ・活動、交流の場の提供								
<p>③項目 分野5-1</p>	<p>■情報収集・発信 ニコットプレス(広報誌)の発行(年3回)、ホームページの運営、登録団体に関する情報の発信 ■団体の交流支援 市民と市民活動団体との交流の場の提供 ■相談対応 団体の運営、法人化、法人運営等の相談に対応 ■各種講座の開催 団体運営に係る各種講座の開催 ■打合せ、作業、事務所スペースなどの場の提供 印刷・紙折・裁断等作業機器の提供</p>	<p>⑪ 令和5年度の成果や実施結果 ・コロナ禍に活動が停滞したことによって、センター登録団体数が減少し、施設年間利用者数も10,144人(1日あたり約28人)と前年とほぼ変わらなかった。 ・主催事業の広報強化や開催規模の拡大により、屋外事業の年間参加者数は2,652人で、前年の約5倍に増加した。 ・サポーターパートナーの施設で事業を実施し、市民活動の現役プレイヤーと参加者とのクロストークを通じて、NPO法人と学生の新たなつながりができた。</p>									
<p>④所管課 市民協働課</p>	<p>【施設概要】 ■場所 新潟市中央区西堀前通6番町894番地1(西堀6番館ビル3階) ■開館時間 9:30～21:30(土日休日は18:30まで) ※12/29～1/3休館</p>										
<p>⑤ 令和5年度決算額 29,067 千円</p>											
<p>⑥ 令和6年度予算額 29,244 千円</p>	<p>【令和5年度決算額内訳】 ■運営委託料:14,375千円 ■施設管理費(賃借料、光熱水費等):14,692千円</p>										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 賃金労働時間等実態調査</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 市内事業所における労働者の賃金等、労働条件の実態について調査し、労使関係の安定化に寄与するとともに、労働行政の基礎資料とする。 また、市ホームページでの公表のほか研究教育機関などに配布し、適切な雇用管理、働きやすい職場環境の整備に向けた啓発を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 本調査の実施により、労働者の適切な雇用管理など労働環境への意識を高めるよう啓発していく。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和5年度と同様に調査を実施する。設問項目については、多様な働き方の広がりなどにより変容する社会の状況に対応するよう精査していく。</p>								
<p>②分野 分野6 企業における人権教育・啓発の支援</p>	<p>事業の対象：市内事業所</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・電子申請システムを利用した回答方法を導入したことで、郵送料やエラーチェック、データおこしの費用を削減することが可能となった。 ・令和4年度同様に、記入要領において例示を増やすことで、「その他」を選択した場合の具体的な内容の把握に努めた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野6-1</p>	<p>市内事業所における労働者の賃金等、労働条件の実態について調査し、調査結果を公表。 【調査対象】 常用労働者を10人以上雇用している事業所のうちから、無作為に抽出した2,000事業所</p>	<p>①令和5年度の成果や実施結果 本調査を通して、労働者の環境や実態を明らかにし、労使関係の安定化に寄与した。また、労働行政における基礎資料としての役割も果たしていると考ええる。</p>									
<p>④所管課 雇用・新潟暮らし推進課</p>	<p>【基準日】 令和5年7月31日 【結果公表】 新潟市ホームページ</p>										
<p>⑤令和5年度決算額 133 千円</p>	<p>【調査結果送付】 労働団体、関係行政機関、教育機関等</p>										
<p>⑥令和6年度予算額 353 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 働き方改革推進事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 経営者向けセミナーの開催や働きやすい職場づくりに取り組む企業の表彰のほか、使用者と労働者の双方に向けた情報発信等を通して、企業の働き方改革を推進する。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ・働き方改革の一層の周知促進のため、情報発信の強化をすること。 ・働き方改革を推進する企業間の繋がりを作ること。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 従業員や経営者意識の改革を図るため、ワークショップなどの手法を活用しながら実践企業間のネットワーク構築に取り組みむとともに、関係機関・団体と連携を強化し、先駆的な企業の取組に光を当てる表彰制度やセミナー、情報発信等の活用を促進しながら取組の横展開を図る。</p>							
<p>②分野 分野6 企業における人権教育・啓発の支援</p>	<p>事業の対象：市内中小企業の経営者及び従業員等</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 759 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・セミナーをオンラインやハイブリッド形式で開催することで参加をやすくし、チャット機能による質問が活発に行われた。 ・働き方改革ポータルサイトにおいて、働く人に必要な法律情報や相談窓口情報を発信した。 ・新たに働き方改革推進協議会を開催することで、各経済団体と連携をしながら表彰制度の見直しを行った。 ・働き方改革を推進する企業間の繋がりを作るため、働き方改革推進企業ネットワークを新たに立ち上げた。</p>
啓発	研修	相談	その他									
○	○											
<p>③項目 分野6-2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営者向け働き方改革セミナーの開催(全3回) <ul style="list-style-type: none"> ①テーマ:ウェルビーイング経営とは 開催時期:令和5年9月 参加者数:13名 ②テーマ:女性活躍推進で採用力強化 開催時期:令和5年12月 参加者数:42名 ③テーマ:人生100年時代の学び直しと働き方 開催時期:令和6年2月 参加者数:30名 働く人向けと企業向けに総合的な情報発信(企業向け)企業の先進事例や支援制度、法律改正情報 (市民向け)公正な採用選考やハラスメントの相談窓口に関する情報を掲載 働き方改革推進協議会の実施 経済団体や労働団体と連携し、官民協働でワークライフバランスを推進 働きやすい職場づくり推進企業表彰の実施 女性や高齢者など誰もが働きやすい職場づくりに積極的に取り組む企業を表彰 応募企業:14社(うち、受賞企業5社) 			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 時間や場所に捉われない多様な働き方が求められる中で、だれもが働きやすい職場づくりを推進するための企業表彰やセミナーを開催することで、人材・人手不足解消を図る取組を展開したほか、働き方改革ポータルサイトを活用し、働く人向けと企業向けに総合的な情報発信を行い、市内企業で働く従業員や経営者の意識改革を図る取組を展開した。経済団体や労働団体と連携し、官民協働でワークライフバランスを推進したことで、働きやすさを測る指標である市内事業所の年次有給休暇の取得率増加にも、ある一定程度貢献できたものと考え。</p>								
<p>④所管課 雇用・新潟暮らし推進課</p> <p>⑤令和5年度決算額 6,208 千円</p> <p>⑥令和6年度予算額 6,454 千円</p>	<p>(R6目標設定) 働き方改革推進企業ネットワークに参画する企業10社</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 インターネットモニタリング事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 部落差別解消推進法を踏まえ、インターネット上の所定のサイト等を検索して、同和問題に関して個人の名譽を侵害したり、差別を助長したりするような書き込みの早期発見を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 検索サイトや検索キーワードの選択</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 様々な条件でネット上の情報を検索し、モニタリングを継続する。 各種会議等で他都市担当者との意見交換する機会を通じてモニタリング手法について情報収集を行う。 差別的な書き込みについては法務局へ削除要請を行う。</p>								
<p>②分野 分野7 インターネットによる人権侵害を防ぐための教育・啓発の推進 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象：</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>調査</td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他				調査	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 検索サイトだけでなく、特定サイトでサイト内検索をするなどしてモニタリングを行った</p>	
啓発	研修	相談	その他								
			調査								
<p>③項目 分野7-1 (再掲)分野13-1</p>	<p>○月2回程、1回1時間程度、対象サイトにおいて特定のキーワードで検索を実施した。 ○同和問題に関して、個人の名譽を侵害したり、差別を助長する恐れのある情報を抽出し、法務局に情報提供のうえ、削除要請を行った。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○法務局に差別的書き込みのある2つのサイトについて削除要請を行った。</p>									
<p>④所管課 広聴相談課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額</p>	0 千円										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	0 千円										
			<p>(目標設定) 月2回程、1回1時間程度のモニタリング継続</p>								

令和5年度実施事業調査票

①事業名 市民相談事業	⑦事業目的・事業の性質 暮らしの中で起きる民事問題解決に向けたきつかけになる相談の場を設け、市民生活の安心と安定を図る。			⑨令和4年度の課題 弁護士相談について、予約が取りにくい状況の中、直前キャンセルが多い	⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 人権に関する相談や市民からの多様な民事問題に対応できるよう昨年度並みの相談体制にて実施していく。 弁護士相談の予約が取れない場合は、他に案内できる先を把握しておき、少しでも早く相談を受けられるよう案内する。								
②分野 分野8 人権救済のための相談制度の充実等	事業の対象：市民			⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 人権擁護委員による市役所本館で実施している「特設人権相談」の他、市民からの相談があれば、話を聞き取ったうえで、必要に応じて人権相談窓口の法務局へつなぐといった対応を行った。直前の弁護士相談について、混雑緩和に向けて、直前のキャンセルを減らすよう取り組んでいる。									
③項目 分野8-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧ 令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p> <p>【相談員による相談】 相続や離婚などの一般的な相談 月～金午前9時～午後4時</p> <p>【弁護士相談】 広聴相談課及び各区で実施(要予約) 令和5年度：252日1,484件対応</p> <p>【特設人権相談】 令和5年度：23日開設</p> <p>【その他専門家相談】 司法書士、行政書士、税理士の専門家相談(要予約)</p>			啓発	研修	相談	その他			○		⑪令和5年度の成果や実施結果 人権問題や様々な民事問題の解決に向けたきつかけになる相談の場を設け、相続等の問題解決につなげていくことで市民生活の安心と安定を図った。	(目標設定) 上記のとおり実施
啓発	研修	相談	その他										
		○											
④所管課 広聴相談課													
⑤令和4年度決算額													
5,897 千円													
⑥令和5年度予算額													
5,897 千円													

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 消費生活相談事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 情報の質・量、また交渉力に格差のある消費者と事業者間で生じたトラブルについて、消費者からの相談に適切に対応することで、被害の救済・防止を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ○巧妙化した悪質商法や特殊詐欺等、新たな手口に対応するため、社会情勢に応じた相談スキルの絶え間ない向上が必要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○引き続き適切な相談対応に努めるとともに、専門研修の積極的な受講により、相談員のスキルアップに努める。</p>								
<p>②分野 分野8 人権救済のための相談制度の充実等</p>	<p>事業の対象：一般消費者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他			○		<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ○実地研修(11回)に加えてオンライン研修(6回)による専門研修の積極的な受講により、相談員のスキルアップに努めた。 ○国民生活センター等からの情報提供を随時確認した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
		○									
<p>③項目 分野8-2</p>	<p>○消費生活相談に関する専任の相談員を配置し、以下の体制で相談対応を行った。 消費生活相談として、 ・日曜～金曜の午前9時～午後4時30分 ・多重債務相談として、 ・月曜～金曜、第2・4日曜の午前9時～午後4時</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○相談員の専門研修受講における理解度は、5点満点中で4.8点を達成した。 ○消費生活における適切な相談対応を推進することにより、市民が安心・安全な消費生活を営むことに寄与していると考える。</p>									
<p>④所管課 市民生活課 消費生活センター</p>	<p>○また相談事例や対応のアドバイスを受けるため、派遣弁護士による相談会を開催し、相談員のスキルアップ・情報共有を図った。 ・月1回概ね第4月曜の計画で年11回開催</p>										
<p>⑤令和5年度決算額</p>	<p>24,451 千円</p>										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	<p>27,936 千円</p>		<p>(R6目標設定) ○専門研修受講者の理解度の平均点5点満点中4.8点を目指す。</p>								

令和5年度実施事業調査票

①事業名 相談体制の充実	⑦事業目的・事業の性質 家族・夫婦・対人関係・生き方やところからの悩みなどについて、電話・面接による相談事業を実施し、解消することを目指す。 様々な悩みや不安を抱える男性が、相談員とともに解決への糸口を探し、自分を大切に生きる生き方を考えるための支援を目的とする。			⑨令和4年度の課題 ○男女共同参画の視点の視座に立った相談を実施し、相談者の問題の解決に向けてサポートを行うことが必要。また、男性が他者へ相談することへの抵抗感を減らし一人で悩まず相談するよう啓発するとともに、悩んでいる方に寄り添えるよう広く相談事業を周知する。	⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○ところの相談 【面接相談】 開設日:火・水・木・土曜 午前10時～午後5時 会場:アルザにいかた相談室 【電話相談】 開設日:金曜 午後2時～午後7時30分 水・日曜 午前10時～午後3時30分
②分野 分野8 人権救済のための相談制度の充実等 分野9 女性	事業の対象:市民全般			⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 ○ところの相談において、相談者の問題解決に必要なサポートを行うために関係機関の協力を得ながら対応した。 ○男性電話相談のチラシを作成して、区役所などに掲示し、周知した。	○女性のところから専門相談 面接日:奇数月第2水曜午後2時～午後5時 会場:新潟大学医学部保健学科 ※祝・休日、12月29日～1月3日は休み ※R2.7月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため面接相談を中止し、電話相談を実施していたが、R6.4月から、面談を再開。 ○男性電話相談 開設日:毎月第4火曜 午後6時30分～午後9時
③項目 分野8-3 (再掲)分野9-4	⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 ○ところの相談 【面接相談】 開設日:火・水・木・土曜 午前10時～午後5時 会場:アルザにいかた相談室 件数:553件 【電話相談】 開設日:金曜 午後2時～午後7時30分 水・日曜 午前10時～午後3時30分 会場:アルザにいかた相談室 ※祝・休日、第4月曜が祝・休日の場合の火曜、12月29日～1月3日は休み 件数:1,146件 ○女性のところから専門相談 電話相談:奇数月第2水曜午後2時～午後5時 会場:新潟大学医学部保健学科 ※祝・休日、12月29日～1月3日は休み ※R2.7月からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため面接相談を中止し、電話相談を実施。 件数:7件 ○男性電話相談 開設日:毎月第4火曜 午後6時30分～午後9時 件数:24件			⑪令和5年度の成果や実施結果 ○男女共同参画の視点に立ち、関係機関の協力を得ながら相談を実施することができた。また、市報などの広報媒体を活用し、悩んでいる方に寄り添えるよう広く相談事業を周知することができた。	(R6目標設定) 上記のとおり実施
④所管課 男女共同参画課					
⑤令和5年度決算額 4,788 千円					
⑥令和6年度予算額 4,818 千円					

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 配偶者暴力相談支援センター事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 配偶者等からの暴力(DV)防止及び被害者支援の充実に努めることを目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 夜間における一時保護を希望するDV被害者への対応について、関係機関と調整が必要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○相談事業 【電話相談】 日時:月・水曜日 午前9時～午後5時 火・木・金曜日 午前9時～午後8時 ※祝日、12月29日～1月3日を除く 【面接相談】 日時:月～金曜日 午前9時～午後5時 ※祝日、12月29日～1月3日を除く ○保護命令申立 ○外国人支援 ○支援事業 被害者移送 緊急保護 見守り同行・支援 親子心理的支援事業 ○相談員研修 ○DV相談窓口調整会議 ○配暴センターリーフレット配布</p>								
<p>②分野 分野8 人権救済のための相談制度の充実等 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象::配偶者等からの暴力被害者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○	○	○		<p>⑩令和5年度に对应・工夫した点や検討した点 会議や研修、事例検討会等を通して、警察や一時保護所をはじめとした関係機関との連携を強化するとともに、相談体制と緊急時の安全確保に努めた。</p>	<p>○相談事業 【電話相談】 日時:月・水曜日 午前9時～午後5時 水・木・金曜日 午前9時～午後8時 ※祝日、12月29日～1月3日を除く 【面接相談】 日時:月～金曜日 午前9時～午後5時 ※祝日、12月29日～1月3日を除く ○相談件数 来所:294件 電話:1,838件 出張等:380件 合計:2,512件 ○保護命令申立 書面提出:6件 ○外国人支援 通訳派遣依頼:1件 ○支援事業 被害者移送:0件 緊急保護:2件 見守り同行・支援:1件 親子心理的支援事業:2件 相談員研修 スキルアップ研修:3回開催 ○DV相談窓口調整会議:2回開催(うち1回は研修会) ○配暴センターリーフレット配布:20,000部</p>
啓発	研修	相談	その他								
○	○	○									
<p>③項目 分野8-4 (再掲)分野9-6</p>	<p>①令和5年度の成果や実施結果 DV相談窓口並びに適切な対応の周知に努め、庁内外の関係機関等との連携を強化した。また、窓口職員や相談員のさらなる質の向上を図るため、効果的な研修を実施した。</p>	<p>(R6目標設定) 上記のとおり実施</p>									
<p>④所管課 男女共同参画課</p>	<p>⑤令和5年度決算額 2,500 千円</p>										
<p>⑥令和6年度予算額 4,228 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 男女共同参画啓発事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 市民・事業者・市民団体や庁内外の関係機関と連携し、条例や行動計画に基づき啓発を進め、男女共同参画社会を実現することを目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ○区役所や各区の男女共同参画地域推進員との協働・連携による事業やデートDV防止セミナーを引き続き行っているが、より効果的、効率的な取組方法について検討が必要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○市民・事業者・市民団体や庁内外の関係機関と連携し、条例や行動計画、男女共同参画週間等にあわせて啓発を進める。 ・男女共同参画に関する基礎調査を実施 ・区配置の男女共同参画地域推進員による啓発事業 ・デートDV防止セミナーの開催 ・行動計画の進行管理</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：市民</p> <table border="1" data-bbox="491 1256 699 1912"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 1420 528 1912">啓発</th> <th data-bbox="491 1256 528 1420">研修</th> <th data-bbox="491 981 528 1256">相談</th> <th data-bbox="491 672 528 981">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="528 1420 596 1912">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業評価 ⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応、工夫した点や検討した点 ○地域推進員事業は、集合型のイベントの開催とともに区だよりに記事を掲載するなど、様々な方法で実施した。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、一部のデートDV防止セミナーをオンラインで行った。また学校の担当職員が開催を検討できるように、セミナーの様子を収録したDVDの貸与を行った。</p>	<p>(R6目標設定) 上記事業の着実な実施</p>
啓発	研修	相談	その他										
○													
<p>③項目 分野9-1</p>	<p>○地域推進員事業(区啓発事業) 各区に2～3名ずつ男女共同参画地域推進員を配置し、固定的な性別役割分担意識の解消を図る事業を実施。 【北区】講座「珈琲の味わいを知る講座(珈琲講座を呼び水に、男女共同参画について考えるきっかけとする内容)」開催。参加者22人。 【東区】講座「パネルディスカッション「私と大切な人を守るための避難所の過ごし方」開催。またその内容を区だよりに掲載。参加者31人。 【中央区】講座「夫婦一緒に楽しく子育て交流会」開催。参加のベビーマッサージ開催。またその内容を区だよりに掲載。参加者29家族87人。 【江南区】講座「その言葉、子どもはどう伝わっていますか?子どもが自分らしく生きるためのサポートとは」開催。またその内容を区だよりに掲載。参加者13人。 【秋葉区】講座「今どきの思春期～学校・子どもたちとの向き合い方～」開催。またその内容を区だよりに掲載。参加者12人。 【南区】講座「知って安心!聞いてなっとく!幸せコミュニケーションのヒントがいっぱい!」開催。参加者40人。 【西蒲区】「考えよう 男女共同参画の防災～災害リスクを軽減するために～」として対談を行い、内容を区だよりに掲載。 ※西区は災害対応に従事するため未実施。 ○デートDV防止セミナー 大学生・高校生などを対象に、デートDVに対する認識を深めてもらい、若年層からの暴力防止の啓発を図った。 37校で45回実施、受講者数：延べ7,882人 ○第4次新潟市男女共同参画行動計画実施事業評価の実施</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○区役所や各区の男女共同参画地域推進員などと協働・連携し様々な工夫を凝らしながら男女共同参画について啓発を行った。 ○多くの中学、高校、大学等でデートDV防止セミナーを開催したことにより、若い世代からのDV防止に向けた啓発を図ることができた。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 2,362千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額 5,403千円</p>													

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 仕事と生活の調和の推進</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ワーク・ライフ・バランスの推進と、性別による固定的役割分担意識の解消を図る。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ○今後は男性の育児休業の取得率増加を目指すだけでなく、育児休業の質の向上や家事・育児従事時間の男女差の短縮により、男女ともに仕事と子育てが両立できる職場の環境づくりを進めていくことが必要。 ○女性活躍応援事業については、委託する民間事業者の提案を受けながら事業の充実を図ることや、自治体間で連携をして集客するなど、効果的</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○男性の育児休業取得促進事業奨励金 育児休業を取得した男性労働者に対して奨励金を支給する。 【支給対象者・支給額】 育児を取得した労働者(1か月以上) 20万円 ○男性の家庭活躍推進のための事業 ・企業の経営者・管理職向けの研修 ○女性活躍応援事業 女性活躍推進のため、働きたい女性などを対象にセミナーや交流会を開催。 ・女性の再就職を支援する講座 ・働く女性の交流会 ・マザーズ再就職支援セミナー ・新潟市WLB・女性活躍推進協議会</p>
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象： 育児休業を取得する男性労働者、大学生、女性労働者 啓発 相談 その他 ○ ○ ○ 奨励金 交流の場</p>			<p>⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 ○講座等の事業の実施については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、事業の内容に応じた、対面型やオンライン型を選択し、事業自体を中止にしないよう、講座を計画した。 ○企業の経営者・管理職向けの研修会について、広報を経済団体や労働団体、他の行政機関と協力しながら行った。</p>	
<p>③項目 分野9-2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 ○男性の育児休業取得促進事業奨励金 育児休業を取得した男性労働者に対して奨励金を支給する。 【支給対象者・支給額】 育児を取得した労働者(1か月以上)・20万円 【支給実績】 労働者:155件 ○男性の家庭活躍推進のための事業 【企業の経営者・管理職向けの研修会】 参加者 延べ40人(33社) 【大学生向けワークショップ】 対象 新潟県立大学の学生 参加者 12人 ○女性活躍応援事業 【再就業を目指す女性のための個別相談会】 参加者 延べ16人 【働く女性の交流会】 参加者 30人 【マザーズ再就職支援セミナー】 参加者 延べ30人 【新潟市WLB・女性活躍推進協議会】 開催数:1回 経済界・労働団体・行政で組織し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進について情報共有した。</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○事業の実施により、ワーク・ライフ・バランスの推進を市民だけではなく企業にも幅広く働きかけることができた。 ○男性の育児休業取得促進事業奨励金の支給件数が増加したほか、指標である男性の育児休業取得率の目標を達成することができた。(R5年度:39.6%)</p>	
<p>④所管課 男女共同参画課</p>	<p>⑤令和5年度決算額 32,444 千円 ⑥令和6年度予算額 34,859 千円</p>			<p>(R6目標設定) ○男性の育児休業取得率:30%(R7年度末まで) ○25~44歳女性の有業率:85%(R7年度末まで)</p>	

令和5年度実施事業調査票

①事業名	⑦事業目的・事業の性質			⑨令和4年度の課題		⑩令和6年度の事業予定(目標設定)	
男女共同参画推進センター	男女共同参画推進センターにおいて、啓発や人材育成のための各種講座を開催し、また、男女共同参画に関するさまざまな情報を提供する情報図書室の運営を行い、男女共同参画の推進を図ることを目的とする。			○男女共同参画推進センター「アルザにいがた」の周知と、講座参加者や図書室利用者などセンター利用の拡大に努め、男性や若い世代の意識啓発に取り組みしていく必要がある。 ○気軽に多くの方が参加しやすいように、引き続きオンラインを活用していく必要がある。		男女共同参画講座① 令和6年5月28日(火) 女性の起業を支援する講座 令和6年7月6日(土)・13日(土)・20日(土) 自己表現講座 令和6年5月24日～6月21日(毎週金曜・全5回) 男女共同参画講座②上映会 令和6年6月9日(日) 男性の生き方講座(子育て期) 令和6年9月頃 女性の生き方講座 令和6年10月頃 男性の生き方講座(定年期) 令和7年1月～2月頃 ジェンダーで社会を考える講座 令和7年2月頃 アンコンシャスバイアスについて考える講座 令和6年8月24日(土) 女性の再就職支援講座 令和6年12月頃 相談に携わる方のための講座 令和6年9月7日(土) アルザ de カフェ 令和6年11月以降	
②分野	事業の対象：市民全般(講座によっては対象あり)			⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点			
分野9 女性に関する人権問題	啓発	相談	研修	その他	○固定的な性別役割分担意識やアンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)について、知識を深め、自分自身に偏りがないかなど、気づく機会を提供した。 ○気軽に多くの方が参加しやすいように、ハイブリット型(対面とオンライン)を含むオンライン講座を開催した。		
③項目	○			情報提供、活動支援、交流の場			
分野9-3	⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容						
④所管課	男女共同参画講座① 令和5年5月24日(水) 参加者:34人 女性の起業を支援する講座 令和5年7月14日(金)・21日(金)・28日(金) 参加者:64人 自己表現講座 令和5年5月26日～6月23日(毎週金曜・全5回) 参加者:104人 男女共同参画講座②上映会 令和5年6月20日(土) 参加者:153人 男性の生き方講座(子育て期) 令和5年9月2日(土)・16日(土)・22日(金) 参加者:56人 女性の生き方講座 令和5年9月7日(木)・14日(木)・21日(木) 参加者:32人 男性の生き方講座(定年期) 令和6年1月18日(木)・25日(木) 参加者:38人 ジェンダーで社会を考える講座 令和6年2月4日(日)・17日(土)・3月3日(日) 参加者:82人 メディアリテラシーについて考える講座 令和5年10月21日(土) 参加者:15人 女性の再就職支援講座 令和5年10月14日(土)・28日(土)・12月2日(土)・9日(土) 参加者:113人 女性の再就職支援個別相談会 令和5年12月12日(火)～16日(土) 参加者:16人 男女共同参画講座③ 令和5年9月2日(土) 参加者:21人 相談に携わる方のための講座 令和5年9月23日(土・祝) 参加者:59人 ジェンダー平等展 令和5年10月7日(土)・8日(日) アルザ de カフェ 令和6年2月16日(金)・23日(金・祝) 参加者:31人			⑪令和5年度の成果や実施結果 ○男女共同参画推進の拠点施設として、性別にかかわらず、互いの人権を尊重し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現について考え行動に結びつける講座の実施や、男女共同参画に関する図書や情報を提供し、男女共同参画を推進した。			
⑤令和5年度決算額	3,373 千円						
⑥令和6年度予算額	4,345 千円						
	【情報図書室】 開室日:月～金曜 午前10時～午後5時30分 休室日:土曜、日曜、休日、第1水曜、第4月曜 (第4月曜が休日の場合翌日も) 年末年始(12月29日～1月3日) 蔵書点検期間 令和6年2月1日(木)～2月7日(水)			(R6目標設定) 上記のとおり実施			

令和5年度実施事業調査票

①事業名 アルザフォーラム	⑦事業目的・事業の性質 市と市民による実行委員会の主催により、男女共同参画について広く啓発する講演会や、様々な課題に取り組む市民団体によるワークショップなどを「アルザにいがた」を主会場として開催し、男女共同参画の推進を図ることを目的とする。			⑨令和4年度の課題 ○男女共同参画の裾野をより広げるため、「アルザにいがた」の認知度を高めるとともに、幅広い世代から多くの参加者が得られるようなフォーラムにしていける必要がある。		⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○令和6年11月9日(土)～17日(日)に開催。基調講演、分科会、DVD上映会、市民団体によるワークショップを実施予定。
②分野	事業の対象：市民全般			⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ○基調講演に男性学を専門とする大妻女子大学准教授の田中俊之さんを講師としてお招きし、男性学の視点で男女共同参画について、考えてもらう機会を提供した。		(R6目標設定) 上記のとおり実施
分野9 女性に関する人権問題	啓発	研修	相談	その他	⑪令和5年度の成果や実施結果 ○基調講演では、講師自身の子育て経験などを踏まえながら、専門的な内容についてもわかりやすく講演していただき、男女共同参画は、男性・女性に関わらず、自分の問題として考える機会と なった。 ○基調講演の男性参加者が4割を超え、男性も参加しやすく、普段、参加が少ない男性にも啓発できた。(前年度の基調講演の男性参加者は約1割)。	
	○			活動支援、交流の場		
③項目	⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容					
分野9-5	開催期間：令和5年11月11日(土)～11月19日(日) 参加者数：1,011人 ○基調講演：田中俊之 「男性学の視点から誰もが生きやすい社会を考える」 ○分科会： 「その生きざらさはどこからきてる？～見えないしほりを考える～」 ○DVD上映会：『種まく旅人―華蓮のかかやき―』 『老後の資金がありません！』 ○ワークショップ18企画					
④所管課 男女共同参画課						
⑤令和5年度決算額				1,400 千円		
⑥令和6年度予算額				1,400 千円		

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 女性緊急一時保護等事業費補助金</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 DV被害者の支援を目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 民間シェルターを運営する団体の財政基盤が弱く、本市からの財政援助だけでは施設運営が厳しい状況にある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 配偶者等からの暴力(DV)を逃れるための緊急一時保護事業や自立支援事業を行う民間団体の保護施設運営費に対して補助を行う「女性緊急一時保護等事業費補助金」を支給する。</p>							
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：民間シェルター</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助金</td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 配偶者等からの暴力(DV)を逃れるための緊急一時保護事業や自立支援事業を行う民間団体の保護施設運営費に対して補助を行う「女性緊急一時保護等事業費補助金」を支給した。</p>			啓発	研修	相談	その他				補助金	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 前年度の施設利用者数や施設運営団体の財政状況を鑑みて、本補助金が必要であることを確認した。また、本補助金の交付状況が新潟市補助金等交付規則に基づいた適切なものであるかを確認した。</p>
啓発	研修	相談	その他									
			補助金									
<p>③項目 分野9-7</p>				<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 R5交付実績：2団体。民間団体が行う支援活動を補助金により援助し、連携(市から民間シェルター等へ入所の紹介、民間シェルター運営団体から新潟市配偶者暴力相談支援センターへ相談の紹介)することにより、DV被害者の支援の充実につなげた。</p>								
<p>④所管課 男女共同参画課</p>				<p>(R6目標設定) 上記のとおり実施</p>								
<p>⑤令和5年度決算額</p>												
<p>1,100 千円</p>												
<p>⑥令和6年度予算額</p>												
<p>1,100 千円</p>												

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳幼児期家庭教育 学級(ゆりかご学級)</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳幼児期の子どもたちの心身の発達や生活を理解し、受講生同士が悩みを共有する事で育児不安を解消するとともに、家庭でも社会でも孤立することなく、一緒に子育てを楽しめる仲間づくりを図る機会とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 講座をとおして、親としての孤立感軽減と自己肯定感を高めることが大切である。一方的な座学ではなく、講師との関係づくりも構築しながら、受講者同士が共有・共感できる場とそこから派生する関係づくり(つながり)へ導く支援が必要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ◆開催時期 9～10月 4回連続講座(11月に特別編)。 ◆人権関係 10.3/10…いま親として。 ○講師 助産師・ヒブセラピスト 鷲尾智恵子 ○内容 ＝10/3＝ ・ジェンダーについて(自分らしさ) ・自己肯定感の醸成 ・親としての生き方 ＝10/10＝ ・ひとりで抱え込まない子育て ・夫婦関係の見直し ・子どもの心の発達</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する 人権問題</p>	<p>事業の対象：月齢4か月～6か月月の乳児を持つ親</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 ・子育て中の親の孤立感軽減と自己肯定感を高めるために、場の設定を工夫した。結果、同じ講師が関わる場にする事で、参加者との間に一定の関係づくり(情報交換・相談等)も生まれた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果</p>									
<p>④所管課 横越地区公民館</p>	<p>◆開催日 10月5日・12日 ◆受講人数 実人数 10人 述べ15人 ◆内容等 ○10月5日「いま、親としてI」 ・講師 ヒブセラピスト/助産師 鷲尾 智恵子 ・形式 車座ワーク・トーク ・内容 母親だけで子どもを育てるのではなく、夫婦や家族、社会全体で子どもを育てていく事を考える。○ 10月5日「いま、親としてII」 ・講師 ヒブセラピスト/助産師 鷲尾 智恵子 ・形式 車座ワーク・トーク ・内容 親としての自分、自分らしさを考える。自己尊重感をばぐみ、自信を持つ。自分らしい子育てについて話し合う。</p>	<p>◆実施結果 ・受講者の満足度 100% 同気づき 100% ◆成果 ・社会や家族、夫婦について触れながら、自身の人権(大切な存在)にも気づく場にもなった。 ・(アンケートより)子育てする親同士で共有・共感でき、自分を大切にすることも学べた。 ・講座終了後、文集作成をとおして交流が深まり、自主グループとなる。グループ活動の中で、子育てや家族関係等について自主的に意見交換できる場が生まれた。</p>	<p>(R6目標設定) ◆受講者のアンケート ・満足度：100% ・気づき：100% ◆講座終了後、受講者による自主グループ化 ◆引き続き、子育て中の親の孤立感軽減と自己肯定感を高められる場とする。</p>								
<p>⑤令和5年度決算額 91 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の子どもを育てる保護者を対象に、自分の生き方や性別的役割分担分業について考える機会を提供することを目的とする。また、人権の視点を持つことを学び、自分の生き方や家族関係について考える機会を提供する。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ・ジェンダーについて学ぶ良い機会になっている。親として子育てをする上で知っておく必要があるの で今後も継続が望ましい。 ・共働き世代が増えている世代であるから、子育てが母親だけの負担にならないよう父親と一緒に子育てをするための学びが必要と思われる。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ジェンダーや人権の視点をいれ、「乳児期家庭教育学級パパ版」を2～8か月の乳児とその父親・母親持つ親8組を対象に 9月8日、29日、10月13日、11月24日(日曜)開催予定。 パートナーや周囲とのより良い関係をづくりについて考える。プレママパパを対象に「安産教室」を6月2日、9月1日(日曜)2回開催。 共働き世代が増えている世代であるから、子育てが母親だけの負担にならないよう父親と一緒に子育てをするための学びになるよう、子育て中の夫婦対象に「夫婦で子育て」を11月～12月全2回実施予定。</p>							
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象:対象月齢3カ月～5カ月を持つ母親</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 756 1845"> <tr> <td data-bbox="619 1541 667 1845">啓発</td> <td data-bbox="619 1384 667 1541">研修</td> <td data-bbox="619 1229 667 1384">相談</td> <td data-bbox="619 1061 667 1229">その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 1541 756 1845">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・親として子どもや配偶者の関係を考え、悩み等をペアワークやグループワークで話し合うことにより、自分らしさを大切にすることや家庭の協力者として配偶者を理解すること等から多くの気づきを得るよう促した。 ・ジェンダーに囚われず自分らしくあることの大切さに気付けるようグループディスカッションをした。 ・「父親も参加できる回」を設けて、夫婦のコミュニケーションについて見直す機会を設けた。</p>
啓発	研修	相談	その他									
○												
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧ 令和5年度に実施した事業の主な取組内容 【内容】R4年度まで全市共通であった乳児期家庭教育学級の連続講座(ゆりかご学級)として、共通のタイトル「いま親としてⅠ」、「いま親としてⅡ」をもとに、R5は各館で事業内容を決定。</p> <p>※連続講座(4回)を年2回開催 (4回のうち2回が報告対象回) その後、講座参加者を対象に特別編を開催</p> <p>【開催日・参加人数】 1 R5.6.22(7人)、R5.6.27(7人)、R5.7.6(6人)、R5.7.11(6人) 特別編 R5.7.30 (26人) 2 R6.1.18(9人)、R6.1.25(7人)、R6.2.1(8人)、R6.2.8(6人) 特別編 R6.3.5(9人)、R6.3.10(8人)</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・事業実施後のアンケートでは満足度100%、気づき83%であり実施した効果が伺えた。 ・「パートナーと子育てについて話し合う良い機会になった」「子どもも自分も大切にしようと思えた」など、今後の子育てや家族関係にも活かしていきたいとの感想が寄せられた。 ・受講者の仲間づくりのきっかけとなるとともに、ジェンダーや子どもの人権についての知識を学びを深めることができたと考ええる。</p>								
<p>④所管課 亀田地区公民館</p>				<p>(R6目標設定) 引き続きゆりかご学級の中で、「いま親としてⅡ」のタイトルで人権の視点から学ぶ内容を2講座取り入れる。「安産教室」や「夫婦で子育て」では「共家事・共育児」を取り入れ、ともに夫婦で子育てする意識啓発やパートナーとよりよい関係を築きけるような内容にする。</p>								
<p>⑤令和5年度決算額 302 千円</p>												
<p>⑥令和6年度予算額 182 千円</p>												

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)※ 【今親としてⅠ・Ⅱ部 分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の子どもを育てる保護者を対象に、自分の生き方や性別的役割分業について考える機会を提供する。人権の視点を持つことを学び、自分の生きがいや家族関係について考える機会を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・申込者数が少なかった。 ・講座回数が減ったため、参加者同士の交流の機会が持てなかった。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・父親の参加を促す内容を予定 ○対象 概ね3か月から8か月の乳児の父母 ○募集人数 8組(保育 8人) ○連続講座 2回 ○内容 家族での子育てを考える</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する 人権問題</p>	<p>事業の対象:対象月齢約2ヶ月～7カ月を持つ親</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・回数を6回とし、日曜版「家族でゆりかご学級」の回を保育なしで設けた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 開催日と延べ参加者数 5月31日～6月7日延べ20人</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・育児中の参加者が多かったため、母親の社会復帰を視点に入れた内容を話し合った。 ・自分らしい生き方と、夫婦の子育てを考える機会となった。 ・日曜版「家族でゆりかご学級」では、父親同士が子育ての悩みを話し合い、不安の軽減につながった。</p>									
<p>④所管課 黒崎地区公民館</p>	<p>【いま親としてⅠ】 ～親として自分自身を見つめて～ 親としての自分自身を見つめなおし、自分らしく生きることをや、自分の子育てを考える。 【いま親としてⅡ】 ～夫婦のコミュニケーションについて～ 性別役割にとらわれない子育てや、家族のコミュニケーションについて考える。</p>										
<p>⑤令和5年度決算額</p>	64 千円										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	160 千円										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級) ※全5回のうち2回</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 核家族化・少子化がすすむ現代社会において、孤立した子育てをしている保護者に仲間づくりの機会を提示し、親として必要な知識を学ぶ場とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 例年人気の講座だが、令和4年度は定員に満たなかった。対象者の設定や周知方法について再検討する必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 乳児期家庭教育学級の連続講座(ゆりかご学級)にて、ジェンダーによる男女の差別や、母親としての役割から離れた一人の人間としての視点から子育てや家族関係を考える講座を実施予定。 開催予定日：令和6年11月29日、12月6日</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：成人</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 前年度は定員割れをしたため、令和5年度は対象月齢を1か月長く設定した。その結果、申込者数は定員(14名)に達することができた。ただし、申込者全員が保育を希望したため、保育の定員(10名)しか受講決定を出すことができなかった。感染対策と定員について引き続き検討していく必要がある。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 内容：乳児期家庭教育学級の連続講座(ゆりかご学級)にて、「しつけってなあに?」、「子育ても自分も大切」を実施。ジェンダーによる男女の差別や自分らしく生きるための心構え、子どもの人権を尊重したしつけを考える内容。 開催日：令和6年1月13日、1月19日 参加者数：15名</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 受講者アンケートでは、満足度、気づきともに100%の高評価を得ることができた。また、参加者でサークルを結成したため、講座終了後も交流が続いている。</p>									
<p>④所管課 小針青山公民館</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 45千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 45千円</p>			<p>(R6目標設定) 満足度80%以上</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学 級(ゆりかご学級) ※【第2回「みんな 子育て」第3回「はぐ む 新しい家族のかた ち」部分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の子どもの保護者を対象に、自分の生き方や 性別的役割分業について考える機会を提供すること を目的とする。また、人権の視点を持つことを学び、自 分の生き方や家族関係について考える機会を提供す る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 育児をしながら働くことの不安を解消したり、ワーク ライフバランスについて考えたりする時間を提供す る。また、月齢の近い子どもとの保護者と話をしたい との声に、講座を通して交流を図りたい。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○育児をしながら働くことの不安を解消した り、ワークライフバランスについて考えたりす る時間を提供する。また、月齢の近い子ど もの保護者と話をしたいとの声に、講座を通 じて交流を図りたい。 ○対象者の幅を広げ、より多くの人を受け 入れる。 ○同じ立場の親同士が話し合うことで育児 不安を解消し、虐待防止につなげる。</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する 人権問題</p>	<p>事業の対象：令和5年3月～7月生まれの子どもの保 護者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 内容がイメージしやすいよう、今までの「今、親とし て」というタイトルを変更した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 開催日：令和5年11月8日・22日(水) 会場：新津地域学園 参加者数：10名 延べ参加者数：16名</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○ヒアリング 「家事・育児」を一人で負わず、家族や地域の力 を借りて子育てをすることや、ワークライフバランス について考える機会になった。 ・子どもを大切にすることでなく、自分の事も大切 にしようと思った。 ・子育てしながら働く意味を考え、今後の人生につ いてもう一度考えようと思った。 ・理想や世間の母親像にとらわれず、自分らしい 母親になれたらよいと思う。</p>	<p>(R6目標設定) 開催月：①令和6年9～10月・②令和7年2 月～3月 対象：①令和5年11月～令和6年5月生ま れの子どもの保護者・②令和6年6月～12 月生まれの子どもの保護者 募集人数：16人/回 学習時間：2時間/回</p>								
<p>④所管課 新津地区公民館</p>	<p>「みんな子育て」 「自分らしさ」を大切にすることを学び、家庭、地域、 社会とつながり、「自分育て」の重要性に気付く。</p>										
<p>⑤令和5年度決算額 13 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 13 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級) ※【「いま親としてⅠ・Ⅱ」部分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 核家族や少子化などの現代社会において、親として必要な知識を学ぶ場を提供するとともに、孤立した子育てをしている親に仲間作りの機会を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 保育の希望が定員を上回った。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和6年6月6日(木)・13日(木)</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象:生後4～7か月の乳児の保護者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 保育の定員を増やした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 内容:乳児期家庭教育学級の連続講座(ゆりかご学級)にて、「いま親としてⅠ」、「いま親としてⅡ」を開催。 子どもとの信頼関係、「その子らしさ」「自分らしさ」について学ぶ。 開催日:第1期 6月1日・8日 参加者数:延べ23人</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 文集作り、サークル化が行えた。 満足度:100%(全体を通して) 気づき:100%(全体を通して)</p>									
<p>④所管課 菅野木地区公民館</p>											
<p>⑤令和5年度決算額</p>											
<p>130 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額</p>											
<p>48 千円</p>			<p>(R6目標設定) 前年度と同じ内容を取り入れ、満足度と気づきについて100%をめざす</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学 級 (ゆりかご学級) ※いま、親としてⅠ・Ⅱ</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の保護者を対象に、自分の生き方や性別的役割分業について見直す。また、人権の視点を持つことを学び、自分の生き方や家族関係について考える。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 転勤族や核家族で周りに気軽に子育ての援助を頼める状況に無い方も多い。子育てや家族間の悩みを話せる仲間ができることは非常に意義がある。反面、感染予防のため、講座終了後の速やかな退館を依頼する。当初はなかなか受講生同士のつながりが生まれにくい様子だった。 講座開設の意義と社会環境の規制のはざまに戸惑った。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和6年11月開催予定 ○対象 令和6年5月～8月生まれの乳児の保護者 ○募集人数 20人(保育定員8人) ○連続講座 全4回 ○内容 グループワークを通して参加者が今の自分の気持ちと向き合い、人としての成長や生き方を考える機会とする。</p>
<p>②分野 分野9 女性に関する 人権問題</p>	<p>事業の対象：令和5年1月から3月生まれの乳児の保護者※応募多数の場合は第1子の保護者を優先 啓発 相談 その他 ○</p> <p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 【いま親としてⅠ】 ～子育て中も自分らしくいるために～ ジェンダーの視点を知り、ひとり抱えこまない子育ての大切さに気付いてもらう。自分らしい生き方を考える。 【いま親としてⅡ】 ～性別役割にとらわれない子育て～ 性別役割にとらわれない家族のコミュニケーションや性別役割子育てにおける家族のコミュニケーションや性別役割にとらわれない子育て、夫婦関係の在り方を考える。</p>	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 新型コロナウイルスの基準も緩和された時期の開催だが、これまでと同様に感染予防対策を講じながら受講者の方々が安心して参加できる環境づくりを考慮した。 コロナ禍で人と関わる機会が少なく、育児について語り合える雰囲気ではなかった。 講座は、参加者の孤立化を防ぎ気軽に話し合えて、育児不安の軽減につながるよう努めた。</p>	<p>(R6目標設定) テーマ「初めての子育てで大切にしたいこと」 今の自分と向き合い、ジェンダーの視点を学び、夫婦・家族関係について考えてもらう。</p>
<p>③項目 分野9-8</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ジェンダーの視点を知り、ひとり抱え込まない子育てと、自分らしい生き方を考えてもらう。また、子どもの心の安定、自己肯定感の育成には、家族間のコミュニケーションが大切であり性別役割にとらわれない子育てを、夫婦関係の在り方を踏まえて話し合った。</p>	
<p>④所管課 中央公民館</p>			
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>			
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>			

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学 級(ゆりかご学級) ※【「いま親としてⅠ・ Ⅱ」部分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・乳児期の子どもを育てる保護者を対象に、自分の生 き方や性別役割分業について考える機会を提供する ことを目的とする。また、人権の視点を持つことを学 び、自分の生き方や家族関係について考える機会を 提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・育児を取得後仕事復帰する方が年々増え、 パートナーとの役割分業について、話し合ったり学 ぶ機会が必要である。 ・少子化や、様々な要因から、年々参加者が減少 している。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・11月26日(火)「いま親として」をテーマ に、人権、ジェンダーの視点をとり入れなが らも自分らしい子育てを参加者同士で一 緒に考える場をつくる。(工事の関係で開催時 期、回数、会場を変更)</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する 人権問題</p>	<p>事業の対象:対象月齢 約2カ月～5カ月のお子さん を持つ親</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容</p> <p>開催日・参加人数・講師</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・パートナーとの役割分業について、ジェンダーの 視点を学び、夫婦のコミュニケーションのとり方を 学ぶことができた。 ・東区健康福祉課保健師から股関節検診時に対 象者へちらしを配布してもらった。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>6月30日(金)「いま、親としてⅠ」(8人) 7月7日(金)「いま、親としてⅡ」(9人)</p> <p>講師:新潟県女性財団 専門員 木村いほ子さん</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果</p>									
<p>④所管課 教育委員会 中地区公民館</p>		<p>・人権、ジェンダーの視点を学び、先輩ママの子育 ての話も参考にしながら、受講者同士が講座終了 後にサークルを作り、悩み、喜びを話し合う場とし て継続して活動している。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額</p>	40 千円										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	23 千円										
			<p>(R6目標設定) ・講座満足度目標値80%以上</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学 級 ※【「いま、親として」 部分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の子どもの心身の発達、親として必要な知識や心構えを学ぶとともに、子育てについての悩みや思いを話し合い、初めての育児に対して前向きな気持ちで臨めるようにしていく。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 親としての孤立感軽減と自己肯定感を高める講座内容にすることが求められている。そのために受講者同士が交流して関係性を深められる講座内容にすることが大切。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和7年2月に実施予定 講師:CAP・いしかた 内容:性別役割にとられず、家族との関係や自分自身を見直し、自分らしい生き方と子育てについて考える。</p>
<p>②分野 分野9 女性に関する 人権問題</p>	<p>事業の対象: 啓発 ○ 研修 相談 その他</p> <p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容</p>	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 子育て中の親の孤立感軽減と、自己肯定感を高めるために、情報交換等のコミュニケーションの時間を多くとった。子育ての悩みを共有することで、信頼関係が生まれた。また講座終了後も関係が継続ように働きかけたことで、自主サークルを結成することができて交流が続いている。</p>	
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>令和6年2月8日 講師:新潟県女性財団 専門員 木村 いほ子 いま、親として ～母親だから当たり前? 自分らしい生き方とは～ 参加者数:11人</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 講座終了後のアンケート「満足度」「気づき」が高評価であったことから、参加者が感じていた育児に対する不安を軽減できたと感じている。 満足度:100パーセント 気づき:100パーセント</p>	
<p>④所管課 鳥屋野地区公民館</p>	<p>内容:親としての自分、自分らしさを考える。講師の講和と同じ悩みを持つ者同士の交流により、自己肯定感を育み、自信を持てるようになってもらう。</p>	<p>・子育てする者同士で悩みを共有、共感すること で、自分を大切にすること(自身の人権)を学べた。 ・講座終了後も継続して公民館に集うことで、交流が深まり自主サークルとなった。</p>	<p>(R6目標設定) 講座受講者のアンケート結果 満足度:80% 気づき:80% 講座終了後の受講者の自主サークル化</p>
<p>⑤令和5年度決算額 95 千円</p>			
<p>⑥令和6年度予算額 111 千円</p>			

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級) ※【「いま親としてⅠ・Ⅱ」部分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の子どもを育てる保護者を対象に、自分の生き方や性別的役割分業について考える機会を提供することを目的とする。また、人権の視点を持つことを学び、自分の生き方や家族関係について考える機会を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・当館は新湊駅から700Mほど。近隣にマンションが立ち並び、転勤族のご家族がお住まいのようだ。親子での交流の機会が少なく、孤独感を持ちながら子育てをしている人が多い。交流と学習の場をいかに工夫して提供していくかが課題である。 ・共働き世帯が増えている世代のため、子育てが母親だけの負担にならないよう夫婦やまわりと協力して自分らしい子育てをする学びが必要と思われる。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和6年9月18日(水)・25日(水)</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：対象月齢 生後約3カ月～7カ月の乳児を持つ保護者</p> <table border="1" data-bbox="331 1272 411 1832"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・グループワークを多く取り入れ、交流と情報交換を促進する内容構成とした。 ・6月10日は、受講者のパートナーの参加を促し6組の夫婦での参加があった。 ・新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染対策として、募集定員や保育人数を調整し密を避ける形で実施した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 内容：乳児期家庭教育学級の連続講座(ゆりかご学級)にて、共通のタイトル「いま親としてⅠ」、「いま親としてⅡ」を設定。ジェンダーによる男女の差別や、母親としての役割から離れた一人の人間としての視点から子育てや家族関係を考える内容。講師選定や詳細は各館で決定。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・保育定員を超える申し込み(28人)があった。 ・事業実施後の参加者アンケートでは、満足度は、75%・気づきがあったは、100%。 ・「自分が何をしたいか考えることがなくなっていたなあと気づいた」など、一人の人間として学ぶ機会となった。また、グループワークを通じて悩みを話したり、情報交換をすることで、今後の子育てや家族関係にも活かしていきたいとの感想が寄せられた。</p>	<p>(R6目標設定) 引き続き、乳児期家庭教育学級の中で、「いま親としてⅠ」、「いま親としてⅡ」のタイトルで人権の視点から学ぶ内容を2講座取り入れる。</p>								
<p>④所管課 東地区公民館</p>	<p>開催館・開催日・参加人数(延べ) 東地区公民館6月10日・14日(22人)、</p>										
<p>⑤令和5年度決算額 153千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 146千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学 級(ゆりかご学級) ※【いま親としてⅠ・Ⅱ部分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の子どもを育てる保護者を対象に、自分の生き方や性別的役割分業について考える機会を提供することを目的とする。また、人権の視点を持つことを学び、自分の生き方や家族関係について考える機会を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・人権について学ぶよい機会となっている。今後も継続が望ましい。 ・令和5年度から、ゆりかご学級の全市統一プログラムが廃止され、ある程度開催時期や対象者、内容を自由に組めるようになった。当館では全ての生まれ月の子の保護者が受講できるように、対象月齢を3か月から半年に変更。月齢の幅が広がったことで、「同じくらいの月齢」でなくなくなり、参加者同士の共感が得られるか、丁寧な対応が必要。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・6月20日、7月3日、1月30日、2月6日にそれぞれ「いま親としてⅠ、Ⅱ」として開催予定。 ・人権について学び、自分自身を振り返って考える機会とする。</p>
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象： 啓発 ○ 研修 相談 その他</p>	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 新津人権擁護委員さんが講座の冒頭で、相談窓口の紹介をした。参加者は、「人権って難しいと思っていたけれど、いろいろな相談窓口があるんだ」と驚いていた。 参加者へ「ひとりで頑張らすぎないで」「自分を大切にすると」「性別役割分業」「3歳児神話の否定」などを、講師が参加者から意見を求めたり、参加者の悩みに絡めて説明するなど、より身近な話題として考えられるようにした。また、育休復帰が早い地域のため、復帰後の生活や、家族との協力体制、自分が働くことの意味を考える機会とした。</p>	<p>(R6目標設定) 講座満足度目標値80%以上</p>
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 開催日：前期→6月29日・7月5日 後期→2月1日・2月8日 参加者数：前期→14人 後期→24人</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果</p>	
<p>④所管課 白根地区公民館</p>			
<p>⑤令和5年度決算額</p>	97千円		
<p>⑥令和6年度予算額</p>	96千円		

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級) ※「いま親としてⅠ・Ⅱ」の部分</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 家庭教育の重要性を学び、子育ての不安や悩みを話し合える仲間づくりを通して自分自身を見つめ直すきっかけとする。 また、ジェンダーについて学び、支え合う夫婦関係について考えながら、自分自身を振り返る機会を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・ジェンダーについて学ぶよい機会となっている。親として子育てをする上で知っておく必要がある。今後も継続が望ましい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響も心配したが、感染対策の実施や、オンラインの利用などを行い学びの場を提供できるよう工夫した。今後も参加者が安心して参加できる場として工夫していくことが課題である。 ・今まで母親のみの参加が多かったが、初めてご夫婦での参加があった。子育ては夫婦で協力して行うことが望ましいため、今後も父親参加が増えるよう広報や環境など含め工夫していくことが課題である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・ジェンダーについて学び、自分自身を振り返って考える機会とする。 ・父親も参加する回を設け、共に行う育児や、パートナーとより良い関係づくりについて学ぶ。 5月21日(火)・28日(火)、6月8日(土)</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業対象:対象月齢 約3カ月～8カ月を持つ親</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に对应・工夫した点や検討した点 ・一方的に講義を聞く形式ではなく、グループワークをたくさん取り入れることで、講義内容や悩みの共有ができ、多くの気付きにつながるように工夫した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 内容:タイトル設定は自由になったため「いま親としてⅠ・Ⅱ」または「子育てで大切にしたいこと」と設定。 ジェンダーを学び、母親・父親としての役割から離れた1人の人間としての視点や、家族関係を学ぶ内容。 開催館:豊栄地区公民館 開催日:参加人数(延べ) Ⅰ期:7月13日・19日(22人) Ⅱ期:1月30日・2月6日(15人)</p>	<p>・父親参加があると、グループワークでも違う視点からのお話も聞くことができ好評だったため、グループ編成も毎回異なるよう考えた。また、父親も参加しやすいよう広報で記載したり、保育室入室時など、参加した際の工夫を行った。 ・父親も参加しやすいよう休日に夫婦で参加の日を設け、夫婦のコミュニケーションやお互いの気持ちについて見直す機会を設けた。</p>									
<p>④所管課 豊栄地区公民館</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・事業実施後の参加者アンケートでは、どちらも満足度100%、気づきが65%から83%という成果が得られた。 ・「自分の不安や決めつけていた概念を変えさせてくれた良い機会になった」「子育てで正解がないことや決めつけ、ジェンダーなど学べた」「インターネットなどで情報があふれているが、講座で生のお話が聞けたこと大きな財産になった」などたくさんの方の気付きがあったと感想が寄せられた。 ・参加者の仲間づくりのきっかけになるとともに、ジェンダーや自分らしくいられる子育てについて学びを深めることができたと考えた。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 76千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 57千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級) ※【「いま親としてⅠ・Ⅱ」部分】</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 乳児期の子どもを育てる保護者を対象に、自分の生き方や性別的役割分業について考える機会を提供することを目的とする。また、人権の視点を持つことを学び、自分の生き方や家族関係について考える機会を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・新型コロナウイルス感染症の影響も心配したが、感染症対策を実施して参加者が安心して参加できる場として、オンラインの利用など工夫していくことが課題である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 9月20日(金)、10月4日(金)に開催予定 ○対象 令和6年2月から5月生まれの乳児の保護者 ○募集人数 12人(保育定員8人) ○連続講座 全6回 ○内容 同じ月齢の乳児をもつ親同士でともに学び、交流することで、子育ての悩みや不安を軽減する。人となかり、家庭でも社会でも孤立することのないよう、共に子育てする仲間をつくる機会とする。</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：令和5年2月から5月生まれの乳児の保護者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者の定員を少なくして実施した。 また、欠席者への対応として、ZOOMで参加できるようにした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 開催日：9月20日(水)、9月27日(水) 【いま親として1】 赤ちゃんと心を結ぶ第一歩、個性を伸ばす関わり 【いま親として2】 親も子も「自分らしく」いられるそれぞれの家庭の育て 参加者数：延べ10人</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 思い込みや思い違いで、心がすれ違ふ前にお互いに話を聞く、ということが大切だと思った。 満足度 100%</p>									
<p>④所管課 北地区公民館</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 34 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 48 千円</p>			<p>(R6目標設定) ジェンダーの視点による夫婦関係の見直し、各家庭なりの子育て、親も子も自分らしく生きることについての内容とする。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 女性セミナー 「無意識の思い込み」 ～気づくことでみえる 新たな私～</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 だれもが生きやすい世の中になるために、男女共同参画社会の流れやジェンダーを学び、自分自身の生き方を考えるきっかけとする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 男女共同参画社会の視点から女性の人権や生き方を考えるための「女性セミナー」ではあるが、対象や内容を含めて検討する。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和5年度の参加者5人と企画立案。 「身近なアンコンシヤスバイアスを知る」 ①8月9日「日常にあふれるジェンダー」 ②8月23日「ドラマや映画からみえる社会」 講師:新潟国際情報大学 藤本直生 ③8月30日「それぞれ違う「当たり前」」 講師:新潟大学 杉原名穂子</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する 人権問題</p>	<p>事業対象:テーマに関心のある方などなくても</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 令和4年度の講座参加者4人(企画委員)とともに企画立案。 令和4年度に男性の参加希望があったので、対象を「女性」から「どなたでも」に変更。 3回連続講座の初回は、講師は依頼せず企画会議で内容を検討した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-9</p>	<p>①9月1日(金)「ヒット曲の中の女たち男たち」 ②9月15日(金)「ジェンダー」の視点で見るとみえてくるもの」 講師:新潟大学ダイバーシティ推進センター 中野 享香</p>	<p>①令和5年度の成果や実施結果 企画委員による講座の振り返りから、3回連続講座終了後、③の内容をブラッシュアップした単発講座を開催。土曜日午後に実施し、保育室を設け対象者を広げた。男性の参加やLGBTs当事者の参加もあった。</p>									
<p>④所管課 豊栄地区公民館</p>	<p>③9月29日(金)「性の多様性を認め合う社会」 講師:LGBTs啓発活動団体 PRIDE LINK 羽賀 真 参加者:13人 延べ参加者:29人</p>	<p>令和6年3月16日(土) 「これからの家族のカタチ」 講師:LGBTs啓発活動団体 PRIDE LINK 羽賀 風真</p>	<p>(R6目標設定) ・男性の参加者増 ・アンケートによる「受講者の気づき」75%以上</p>								
<p>⑤令和5年度決算額 17 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 40 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 女性セミナー「これから働くママ応援セミナー」</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 子育て中の女性の社会復帰、社会進出を支援する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 今回は受講者が少なめであったため、次回は事前の広報を工夫をし、受講者が定員に達するよう準備したい。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 6月21日(金)これから子どもを預けて働くあなたへ(講義・グループワーク) 6月29日(土)入園手続きと復帰までのスケジュール(講義・グループワーク)</p>								
<p>②分野 分野9 女性に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：職場復帰を考えている女性</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td data-bbox="619 1688 667 1845">啓発</td> <td data-bbox="619 1541 667 1688">研修</td> <td data-bbox="619 1393 667 1541">相談</td> <td data-bbox="619 1227 667 1393">その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 1688 756 1845">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 今年度は、再就職を考えている女性のために「これから就活」をテーマとして実施した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野9-10</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 7月21日(金)これから就活を考えているあなたへ～今のあなたの状況と子どもの預け先～(体験談・質疑応答) 7月29日(土)これから職場復帰予定のあなたへ～保育園入園の手続きと先輩ママの体験談～(講義・質疑応答) 延べ23人参加</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 参加者のアンケートによると、受講者の満足度は86%、新たな気づきを得たと回答した人の割合は100%だった。</p>									
<p>④所管課 坂井輪地区公民館</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 59千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 63千円</p>			<p>(R6目標設定) アンケートによる「受講者の満足度」を100%にする。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 児童虐待防止対策事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 児童虐待防止を目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 関係機関との連携を強化し、児童虐待の防止に努めていく必要があるが、子どもの成長につれ、周知対象となる保護者の育児に対する不安や悩み等は変動していくため、育児に対する相談窓口や児童虐待にかかる通告窓口を周知し続けることが重要である。</p>	<p>⑬令和6年度の事業予定(目標設定) 【子ども家庭センターの運営】 令和6年度から全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行うこと も家庭センターを各区健康福祉課妊娠・子育てほつとステーション内に設置し、相談体制の強化と母子保健と児童福祉の一体的な支援を図る。 【要保護児童対策地域協議会の開催】 児童虐待防止のため、関係機関等との連携・情報交換・支援方法の協議、防止施策及び市民への啓発方法について協議・検討 【啓発事業の実施】 ・CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の実施 ・オレンジリボンツリーの設置 ・公用車へのオレンジリボンマグネット貼付 ・新潟交通バス車内放送広告による啓発 ・啓発パンフレットの配布 ・相談先・通告周知チラシ等の配布 ・市報にいがたやフリーペーパー等での広報</p>								
<p>②分野 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象：子どもとその家庭及び妊産婦等</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1848"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○	○	○		<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・従来通り、要保護児童対策地域協議会を通して、課題を抱える家庭への支援に取り組むとともに、児童虐待防止啓発強化のため、小・中学生向け相談カードを作成し、夏休み前に配布を行なった。 ・啓発ファイルを作成し、就学時健診や母子手帳交付時にリーフレット等を入れて配布することで、相談先の周知や児童虐待防止の啓発に努めた。</p>	<p>(R6目標設定) ・学校園への積極的な訪問による情報収集の継続 ・CAP実施園の数:8か所以上 ・啓発事業の積極的展開</p>
啓発	研修	相談	その他								
○	○	○									
<p>③項目 分野10-2</p>	<p>【要保護児童対策地域協議会の開催】 内容:児童虐待防止のため、関係機関等との連携・情報交換・支援方法の協議、防止施策及び市民への啓発方法について協議・検討 【啓発事業の実施】 ・CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の実施(実施数:8か所) ・オレンジリボンツリーの設置(8区及び本庁、子ども創造センター等) ・公用車へのオレンジリボンマグネット貼付 ・新潟交通バス 車内放送広告 ・啓発ファイルの配布 ・啓発イベントで、相談先・通告周知のチラシ配布 ・市報にいがた等での広報</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・児童虐待防止のための関係機関とのネットワークの活用や研修は、関係機関の連携を深め、児童虐待の早期発見・早期対応・支援を図ることができた。 ・児童虐待防止月間を中心に、啓発イベント等において、様々な啓発事業を実施することで、児童虐待についての市民意識の定着と相談窓口等について周知を図ることができた。 ・積極的な学校園訪問などの活動により、各区役所への早期の相談に繋げ、児童虐待の未然防止に努めた。</p>									
<p>④所管課 子ども家庭課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 4,345 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 3,142 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権講座「不登校の子に寄り添うために家族ができることは？」</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 不登校及びその傾向にある子どもへの親を対象に、子どもへの対応や相談機関などの情報交換、親自身のこころの持ち方について考える機会を提供する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 開催日時と会場については再検討する必要がある。 (土曜日の午後2時から開催したが、駐車場が混み合ってしまう停められなかったとの意見があったので、改善したい。) ※坂井輪地区公民館は坂井輪図書館と同じ建物内にあるため、図書館利用者の多い土曜午後は駐車場が混雑する傾向がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 11月実施予定</p>								
<p>②分野 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象：不登校及びその傾向にある子どもの保護者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1843"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 開催日時を駐車場が比較的空いている日曜午前とした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○										
<p>③項目 分野10-8</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 11月12日(日)不登校の子に寄り添うために家族がでることは？ (体験発表・グループワーク) 14人参加</p>										
<p>④所管課 坂井輪地区公民館</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 アンケートによると、満足度は100%で、新たな気づきを得たと回答した人の割合は92%だった。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 18千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 25千円</p>			<p>(R6目標設定) アンケートによる「満足度と気づき」を100%とする。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権講座～地域で守る子どもの人権</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 子どもをめぐる人権問題について、地域住民一人一人が学ぶ機会を提供し、公民館事業として人権教育の普及啓発を行う。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 子どもをめぐる人権問題の中でも現代課題に着目し、地域で一体となり見守り体制を築くために、地域コミュニティ団体との連携により、継続的に人権問題に関する意識への普及啓発に努めることが課題。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 開催予定日：令和6年10月5日(土) 会場：内野まちづくりセンター 分野：2, 4, 10, 18 内容：内野中学校の制服リニューアルを契機として、性的マイノリティやジェンダーの視点を地域住民と共に学ぶ機会を提供する。</p>								
<p>②分野 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象：地域住民(テーマに興味のある方)</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 地域コミュニティ団体へ社会福祉協議会の助成金の活用を促したほか、公民館利用団体(大学サークル)によるボランティア活動を組み合わせたことで、財政的に脆弱な地域コミュニティ団体と、事業予算が圧縮された公民館との事業連携の実施につなげた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○										
<p>③項目 分野10-9</p>	<p>開催日：令和5年10月28日(土) 会場：内野まちづくりセンター 対象：地域の方・テーマに関心のある方 内容：不登校児の現状と新たな取り組みについて講義をし、その後ヤングケアラーへの理解・支援についてパネルディスカッション形式で学び合う。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 現代課題である「不登校とヤングケアラー」をテーマとした講座の開催により啓発を行った。 募集人数100名に対し、申込数が39名であったが、受講者の満足度や気づきが高かった。 (満足度：87% 気づき：91%)</p>									
<p>④所管課 西地区公民館</p>											
<p>⑤令和5年度決算額</p>											
<p>0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額</p>											
<p>0千円</p>			<p>(R6目標設定) ・地域コミュニティ団体と連携した、現代社会における子どもの人権講座の継続的な開催 ・上記による人権問題への課題意識の普及啓発と、地域一体となった見守り体制の構築。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟市子ども条例推進事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 子どもの権利を守り健やかな育ちを支援していくために制定された「新潟市子ども条例」について、権利の主体である子どもや市民への周知・啓発を推進するとともに、子どもの権利推進委員会を設置し、市の取組への助言や子どもの権利擁護のあり方に関する検討を行う。 また、子どもの権利侵害からの救済を図るための相談窓口の設置に向けた準備を進める。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・子どもの権利救済に向けた制度構築に向けた検討が必要 ・子ども条例の理解促進について、おとなへの周知・啓発が課題</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○子ども条例施行3年目となる令和6年度において、同条例のさらなる周知・啓発を図るとともに、すべての子どもが豊かな子ども期を過ごせるまちを実現するため、子どもの権利推進計画に基づき施策を着実に推進する。 ○令和6年度は、子どもの権利救済機関(子どもの権利相談室)の設置に向けた取組を着実に進め、令和6年8月からの窓口開設を経て、安定的な運用を目指す。 ○子どもの権利の一つである意見表明・社会参加について、令和4年度から実施している学校と連携した中学生の意見交換会等の取組を継続するとともに、こども計画(仮称)の策定に併せた子ども等からの意見聴取とも連携を図りながら、より発展的な内容で実施する。</p>
<p>②分野 分野10 子どもに関する人権問題 分野3 学校における人権教育の推進</p>	<p>⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 ・周知・啓発について 教育委員会や学校と連携し、子ども条例の周知用パンフレットや動画コンテンツを効果的に展開するとともに、民間事業者によるイベント等にも参加し、幅広い市民への周知を行った。 ・子どもの権利推進委員会について 有識者や市民14名からなる子どもの権利推進委員会を組織し、様々な分野から幅広い意見を徴取し、子どもの権利推進計画策定に向けた答申書をまとめた。 ・子どもの意見表明・社会参加について 複数の学校の協力を得て、子どもの権利をテーマとした中学生による意見交換会を試行的に実施し</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・子どもの権利周知・啓発用パンフレット及び大人向け、子ども向けショート動画の作成、配付 ・子どもの権利推進委員会の開催(全体会議3回(うち能登半島地震対応に伴い書面会議1回)) ・中学生による子どもの権利をテーマとしたオンライン意見交換会の実施 ・新潟市子どもの権利推進計画の施行(R5. 4～) ・子どもの権利救済に係る諸規定を整備した新潟市子ども条例改正案の成立(R5. 12定例会、R6. 4施行)</p>	
<p>③項目 分野10-10 (再掲)分野3-16</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 ①子どもたちに向けた周知 小学生や中高生など、成長に合わせた内容でパンフレットや動画などの周知資料を作成し、教育委員会とも緊密に連携しながら、権利の主体である子どもたちへの周知に取り組んだ。 ②広報媒体やSNSを活用した市民向け周知 子ども条例の内容について、様々な広報媒体やSNS等を活用し、幅広い市民に周知・啓発するとともに、5月5日から11日までの子どもの権利週間や11月の子どもの権利月間において、イベント等を実施し、集中的に普及・啓発を図った。 ③子どもの意見表明・社会参加の促進 市内12校の中学校からの協力を得て、子ども条例の施行や、子どもの権利救済に関する相談窓口をテーマに校内で話し合い、検討した結果を、オンラインで意見交換する取組を行った。 ④子どもの権利救済機関の設置に向けた準備 子どもの権利救済に関する制度設計を進め、令和5年12月定例会において、子どもの権利救済に係る規定を加えた改正新潟市子ども条例を提案し、可決・成立した。子どもの権利相談室は、万代市民会館4階に設置することとなり、窓口の整備に係る工事等を進めた。</p>		
<p>④所管課 こども政策課</p>			
<p>⑤令和5年度決算額 5,953 千円</p>			
<p>⑥令和6年度予算額 0 千円</p>			

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権啓発講演会「SNS・ゲーム」インターネットどこに注意」</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ツイートによる誹謗中傷や、グループラインによる「いいね」など、SNS利用における人権問題について、中学生及び保護者や地域の大人に理解を深めてもらう。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 令和4年度の開催なし</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和6年度の開催予定なし</p>								
<p>②分野 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象：中学生、保護者、地域の大人</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td data-bbox="619 1688 667 1845">啓発</td> <td data-bbox="619 1536 667 1688">研修</td> <td data-bbox="619 1384 667 1536">相談</td> <td data-bbox="619 1227 667 1384">その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 1688 759 1845">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 共催の松浜中学校及び新潟人権擁護委員協議会と、企画段階から協議を行い、人権啓発講演会を開催できたものであり、全体の満足度は高かった。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
○													
<p>③項目 分野10-11</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 開催日：6月1日(木) 会場：松浜中学校 体育館 講師：小野 邦夫(元 早通中学校校長) 演題：「人権啓発講演会～“SNS・ゲーム”インターネットどこに注意～」 参加人数：286人</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 参加者のアンケート結果では、87%が講演会の内容に満足し、91%が人権への関心・理解が深まったと回答した。</p>									
<p>④所管課 北地区公民館</p>													
<p>⑤令和5年度決算額</p>													
<p>11千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額</p>													
<p>0千円</p>					(R6目標設定)								

令和5年度実施事業調査票

①事業名 人権啓発講演会(人権教室) ※人権啓発活動地方委託事業	⑦事業目的・事業の性質 子どもの人権について講演することによって、当事者である中学生が意識や知識を高め、自分が大切にされるべき存在であることを自覚してもらうとともに、さまざまな立場の方々の人権を大切にしなければならぬことにも気づいてもらう。	⑨令和4年度の課題 令和5年度単年度事業のためなし	⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和5年度単年度事業のためなし								
②分野 分野10 子どもに関する人権問題	事業の対象：中学生 <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・講師が記入式のレジュメを使用し、生徒に考えさせながら講演を進めた。	
啓発	研修	相談	その他								
○											
③項目 分野10-12	⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 人権擁護委員協議会と連携し、以下のとおり講演会を実施した。 講演「人権について、一緒に考えよう。 ～ひとりひとり大切な存在～」										
④所管課 新津地区公民館	講師 木村いほ子 (公益財団法人新潟県女性財団専門員) 会場 新潟市立小台中学校 開催日時 令和5年5月25日(木) 13:45～15:10 参加者数 79人(全校生徒参加)	⑪令和5年度の成果や実施結果 ○アンケートの実施方法 ・講演終了後にその場で記載せず、直後の授業の中で振り返りながら回答してもらった。 ○アンケート集計結果による効果検証 ・参加生徒の88.6%が内容に満足し、89.9%が人権への関心・理解が深まったと回答した。 ・講演で印象に残った内容を具体的に挙げたり、今後の行動や心構えを述べたりした感想が多かった。	(R6目標設定)								
⑤令和5年度決算額	7千円										
⑥令和6年度予算額	0千円										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 幼児期家庭教育学級(うち第2・3回) ※人権啓発活動地方委託事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ①子どもの自立する力を信じる、子どもの話を傾聴するなど子どもの人権に配慮したかわり方を学ぶ。 ②新潟市子ども条例に触れ、子どもの人権を学ぶとともに、周りと協力して子育てする大切さを意識する。 ③子育ての不安や悩みを話し合っているいる方の方々に触れ、自分の「無意識の思い込み」に気づく。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 令和5年度単年度事業のためなし</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 令和5年度単年度事業のためなし</p>								
<p>②分野 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象:幼児期の子どもを持つ保護者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <thead> <tr> <th data-bbox="619 1688 667 1845">啓発</th> <th data-bbox="619 1532 667 1688">研修</th> <th data-bbox="619 1375 667 1532">相談</th> <th data-bbox="619 1227 667 1375">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="667 1688 756 1845"></td> <td data-bbox="667 1532 756 1688">○</td> <td data-bbox="667 1375 756 1532"></td> <td data-bbox="667 1227 756 1375"></td> </tr> </tbody> </table>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・講座はワークショップ形式で行い、参加者が話すことと聞くことで気づきを得られるように進めた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野10-13</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 人権擁護委員協議会と連携し、以下のとおり講座を実施した。 幼児期家庭教育学級「ウチの子育てこれでいいのだ」 会場 新津地域学園 開催日時 令和5年7月21日・28日(水) 10:00～12:00 7月21日(水) 第2回 愛情を伝えることばかり 7月28日(水) 第3回 ほっとひととき 子育てカフェ 講師 土田 陽子 (NPO法人ハートフルコミュニケーション 理事) 7月28日(水) 第3回 ほっとひととき 子育てカフェ ～ゆったり話してみんな笑顔に～ 講師 木村いほ子 (公益財団法人新潟県女性財団専門員)</p>	<p>①令和5年度の成果や実施結果 ○実施方法 ・講演終了後に参加者ヒアリングを行った。 ・内容に満足し、新しい気づきがあったと答えた参加者が多かった。 ・子どもとの接し方やしつけ方に理解が深まり、配慮して関わろうと思った。 ・年齢に合った子どもへの対応が必要だと思った。 ・子育て中は自分の事考えることがあまりできないのですが、自分の事も大事に今後の人生も考えながら子育て奮闘したい。</p>									
<p>④所管課 新津地区公民館</p>	<p>参加者数 11人 延べ参加者数 18人</p>										
<p>⑤令和5年度決算額 16千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 青少年育成・人権啓発学習会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 区内公民館が年度毎に順番で人権育成について、講座・学習会を開催することになっているが、R5が西川地区公民館の順番であったことから開催した。公民館事業の大きな柱である青少年育成と人権啓発について、地域の青少年育成協議会と人権委員協議会と共催し、新潟市が制定した「子ども条例」を学ぶ。地域の子どもたちの健全な成長や子育てをとおした地域連携など「地域の子どもは地域で見守り、育てる」という意識と郷土愛の醸成を図る。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 無</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 無</p>								
<p>②分野 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象：幼児・児童保護者、一般成人者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 予算が無いので、無償の講師を前提に、人権啓発に何を実施したらよいか、内容等の検討を工夫した。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
○	○												
<p>③項目 分野10-14</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 3月9日実施 ①「新潟市子ども条例」学習講演(新潟市子ども政策課職員) ②西川地区青少年育成協議会活動紹介(活動紹介) ③新潟人権擁護委員協議会活動紹介(絵本朗読、活動紹介)</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 参加者が関係者を含めたも28人と少なかつた。参加者アンケートは肯定的な意見が多かつた。</p>									
<p>④所管課 西川地区公民館</p>													
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>					<p>(R6目標設定) 無</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 高齢者虐待防止事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ・高齢者虐待防止に関する相談体制を整備し、関係者の理解等を深めるために研修会を行い、虐待の未然防止を図るとともに、虐待を受けている高齢者への対応とその養護者への支援を行う。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が多大に生じていた令和2,3年度と比較し、養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する相談通報件数、虐待があったと判断した件数が少くはありますが増加した。 ・今後、新型コロナウイルス感染症が収束または第5類に移行するにあたり、増加することが見込まれるため、防止の取組みがより一層必要とされる。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・関係機関との連携・協力体制の整備のため、高齢者虐待防止連絡協議会、高齢者虐待防止連絡会を開催 ・高齢者虐待防止及び早期発見・早期対応の実施に向けて高齢者虐待担当職員等への研修会を実施 ・養介護施設管理者等に向けた高齢者虐待防止研修会の開催 ・緊急一時避難のための居室確保 ・在宅における高齢者虐待を防止するため、専用のパンフレットなどを活用した周知啓発の実施 ・養介護施設等における高齢者虐待を防止するため、管理者や施設長が職員に対して研修を行う際、活用してもらうためのパンフレットの発行 ・専従の高齢者虐待防止相談員の配置</p>								
<p>②分野 分野11 高齢者に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：高齢者及び高齢者を養護する家族等、養介護施設従事者等</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○	○	○		<p>⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 ・令和5年度は例年どおり、養介護施設管理者等に向けた高齢者虐待防止研修会の実施を予定していたが、能登半島地震の影響により、中止とした。令和6年度は改めて研修を企画し、実施したい。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○	○									
<p>③項目 分野11-1</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 ・関係機関との連携・協力体制の整備のため、高齢者虐待防止に関する会議等を開催 高年齢者虐待防止連絡協議会：8月24日開催 高年齢者虐待防止連絡会：7月6日開催 ・高齢者虐待防止及び早期発見・早期対応の実施に向けて高齢者虐待担当職員等への研修会を実施 基礎編：28名出席 応用編：35名出席 ・養介護施設管理者等に向けた高齢者虐待防止研修会の実施を予定していたが、能登半島地震の影響により、中止とした。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・高齢者虐待防止に係る会議を行い、現状の共有や防止の対策などを検討することで、高齢者虐待の未然防止や早期発見、早期対応、再発防止へと繋げるネットワーク体制を構築することができた。 ・高齢者虐待防止に係る各種研修を実施することによって、高齢者を支援する関係者や職員等の権利擁護の意識を高め、高齢者虐待を未然に防ぐことや早期発見、早期対応に努めることができた。</p>									
<p>④所管課 高齢者支援課</p>	<p>・緊急一時避難のための居室確保 ・高齢者虐待防止パンフレットによる啓発 ・専従の高齢者虐待防止相談員の配置</p>										
<p>⑤令和5年度決算額 1,650 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 2,371 千円</p>			<p>(R6目標設定) (目標設定) ・養介護施設管理者等に向けた高齢者虐待防止研修会 延出席者 1,040名</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 認知症サポーター キャラバン事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守り、手助けをする「認知症サポーター」を養成します。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ・認知症サポーター養成を推進し、認知症に対する正しい知識と理解の普及を図る。 ・認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことができるよう、認知症本人や家族の支援ニーズを認知症サポーターにつなぐ仕組み（チームオレンジ）の整備を進める。</p>	<p>⑩令和6年度の事業予定（目標設定） ・引き続き、若い世代を含め、より多くの方に認知症サポーター養成講座を受講してもらうことにより、認知症に対する正しい知識と理解の普及を図る。 ・認知症地域支援コーディネーターを中心に認知症当事者の意思を大事にした、認知症サポーターとの支援の仕組みを作るために、活動範囲を広げるとともに、認知症力フェなどを拠点としたチームオレンジを整備し、さらに数を増やしていく。</p>							
<p>②分野 分野11 高齢者に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1848"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、学校、企業、職域団体など対象に、認知症サポーターの養成（年間3,981人） ・認知症サポーターが地域で活躍できるようステップアップ講座を開催（年1回 58人） ・認知症サポーター養成講座の講師となる、キャラバン・メイトの養成（年1回 51人） ・キャラバン・メイトのスキル向上のためのフォローアップの研修を開催（年1回 29人） 			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 ・少人数開催の常設定例会場については、市報やホームページなどで周知に努めた。 ・コロナ禍での市民の生活スタイルの変化やニーズを捉え、オンラインによる開催を継続した。 ・認知症地域支援コーディネーターを配置し、モデル地域においてチームオレンジを立ち上げた。さらに数を増やすために、既存の資源を活用し認知症カフェを拠点としたチームオレンジを、さらに2ヶ所整備を始めた。</p>
啓発	研修	相談	その他									
○												
<p>③項目 分野11-2</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・認知症サポーターの養成については、新型コロナウイルス感染症拡大が続いた影響で、養成数が減少していたが、昨年度より回復傾向にある。（令和4年度3,702人より増加） しかしながら、企業や学校からの講座依頼が低迷な状況にあるため、令和6年度に周知等の対策を講じる。通年開催されている少人数制のサポーター養成会場はさらに1か所増え、受講者からも好評だった。</p>											
<p>④所管課 地域包括ケア推進課</p>												
<p>⑤令和5年度決算額</p>	5,907 千円											
<p>⑥令和6年度予算額</p>	6,794 千円											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権啓発活動地方委託事業「シロネシネマ喜楽座(人権啓発映画上映)&人権講演会)</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 医療や生活環境の改善により、平均寿命が大幅に伸び、高齢化が急速に進行している現代においての高齢者の人権について理解を深める。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 実施なし</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 隔年実施のため、実施予定なし</p>								
<p>②分野 分野11 高齢者に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：一般(どなたでも)</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 人権啓発映画「老いを生きる」上映後、人権講演会「ともに生きる」を実施。その後、地元で活動する人権擁護委員の活動紹介や相談窓口などの紹介をした。人権について、身近な問題として捉えられるように構成を工夫した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野11-3</p>	<p>開催日：令和5年10月17日 会場：白根学習館 ラスパックホール 内容：第一部 人権啓発映画鑑賞「老いに生きる」 第二部 人権後援会「ともに生きる」 参加者：106名</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 アンケート回答者106名(回答率100%)のうち満足度84% 人権について理解が深まった方80%</p>									
<p>④所管課 白根地区公民館</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 32千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>			<p>(R6目標設定)</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 共生のまちづくり条例 関連事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」の周知や、心の輪を広げる体験作文及び障がい者週間のポスター募集を通じ、障がい福祉への理解促進、障がい等を理由とした差別の解消を進め、障がいのある人もない人も共に生きる社会の実現を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ○条例認知度調査では、依然として10～30代の認知度が低く、若年層に対する周知啓発に一層取り組み必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○条例研修会等の実施 ○各種イベント等における普及啓発活動 ○障がい等を理由とした差別相談対応 ○学校における福祉教育 ○障がい者アートの展示 ○共生社会づくりに関心を持つ企業等のネットワーク構築と交流の促進 ○心の輪を広げる体験作文やポスターの募集 ○学生を対象としたワークショップの開催</p>								
<p>②分野 分野12 障がい者に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○	○	○		<p>⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 ○引き続き、商業施設でのアート展を行うなど、認知度向上につながる手法で周知啓発を行った。 ○イベントでの普及啓発については、相乗効果による認知度向上を図るため、他イベントとコラボレーションして実施した。 ○学生を対象としたワークショップを実施し、若年層に対して共生社会への理解を深めるとともに、条例の周知啓発を行った。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○	○									
<p>③項目 分野12-1</p>	<p>○条例研修会等の実施 研修・チラシ配布：12回 対象延人数：2,976人 ○各種イベント等における普及啓発活動 ○障がい等を理由とした差別相談対応：8件</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果</p>									
<p>④所管課 障がい福祉課</p>	<p>○学校における福祉教育 実施校：29校 授業対象人数：1,841人 ○障がい者アートの展示：3箇所</p>	<p>○条例認知度調査結果：36.3% 認知度35%を上回り、目標を達成した。 ○学生を対象としたワークショップ開催：2大学 大学でワークショップを実施し、障がい者理解や共生条例の理念について若年層への周知を図った。また、2大学で実施し、目標を達成した。 ○学校における福祉教育：29校 手話や車いす体験等の福祉教育を実施し、障がいや障がいのある人への理解に努めた。また、16校を上回り、目標を達成した。</p>	<p>(R6目標設定) ○障がいのある人を招いた福祉教育の実施校数：26校 ○条例認知度：43% (毎年実施するアンケート調査結果) ○学生を対処としたワークショップの開催：2大学</p>								
<p>⑤令和5年度決算額 1,465 千円</p>	<p>○共生社会づくりに関心を持つ企業等のネットワー 構築と交流の促進 加入組織数：65組織</p>										
<p>⑥令和6年度予算額 1,621 千円</p>	<p>○心の輪を広げる体験作文・ポスターの募集 応募：0件</p>										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 障がい者就業支援センター事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 障がい者を雇用するための中心となる施設を設置し、就職を希望する障がい者の相談から就職後の定着支援まで一貫した支援を実施することにより、障がい者の雇用率向上を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 登録者が年々増加しており、職員の業務負担が大きくなっている。登録者の様々なニーズに対して、限られた人員体制の中で継続して効果的な支援を行っていく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・障害者雇用率が低い中小企業の雇用率を上げるため、障害者就業・生活支援センターやハローワーク等と協力し、企業開拓、定着支援によるフォローアップを行うとともに、会社説明会開催の提案や新潟市実習制度の活用を促すなどの企業対応に取り組む。 ・利用者をよりスピーディーに一般就労へつなげるため、職員一人ひとりの支援へのプロ意識及びスキル向上に取り組む。 ・個別支援に要する時間が増加している中、限られた人員で定着支援を行うために、登録者整理の必要性を検討する。 ・新潟市障がい者雇用支援企業ネットワーク“みづばち”等と連携し、企業の理解促進を図る。</p>								
<p>②分野 分野12 障がい者に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：新潟市内で就労をめざす、または雇用されている障がい者、障がい者雇用に係わる企業等</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○		○		<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・「障がいのある学生の就職支援セミナー」を新潟障害者職業センター、新潟市発達障がい支援センターJOINと共催し、障がいのある学生の就職活動について情報共有する場を設けた。 ・在宅就労を広く周知するため、県内ナカポットともにセミナーや採用説明会を実施した。 ・支援対象者の把握や支援のあり方について共通認識を設け、取り組んだ。 ・現場業務と目録業務との時間バランスが取れない日があるため、現場で記録をとれるようなシステムの導入を検討している。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○		○									
<p>③項目 分野12-2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 障害者雇用における中核施設として、就労を希望する障がい者や障害者雇用を望む企業に対し、相談・助言等の支援を行う。 ・障がい者への相談、就労準備、定着支援等の実施。 ・企業への相談、雇用準備支援、定着支援等の実施。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・相談支援件数：2,964件(前年比-898件) ・定着支援件数：4,175件(前年比+437件) ・年間就職者数：146人(前年比-1件) ・職場実習件数：85件(前年比-7件) ・「グレースーンの生徒に関わる教育の現状と課題」セミナー開催(54名参加) ・障がい者雇用企業認定企業数：56社</p>									
<p>④所管課 障がい福祉課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 31,801 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 31,801 千円</p>			<p>(目標設定) 上記のとおり実施 ・年間就職件数：154名以上</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 農業を活用した障がい者雇用促進事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 農業分野で就労(訓練)の場を創出し、障がい者が働ける職域を拡大することで、能力と適性に応じた就労の場につけるようにする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・福祉施設との連携メリットを感じている農業者は一定数あるが、広がりにくく、雇用につながらない。 ・繁忙期の農作業需要はあるものの、急な依頼に対して利用者の体調や急な天候変化により、福祉施設での対応が困難な現状である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・施設内でも取り組める農作業のマッチングを進める。 ・座談会の場を設け、農と福が情報交換できる場を提供する。 ・農福双方に見学・体験会を提供し、互いの農福連携に対する関心を高める。</p>								
<p>②分野 分野12 障がい者に 関する人権問題</p>	<p>事業の対象：就農をめざす、または就農している障がい者、障がい者の就農に取り組む農家、福祉施設等</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>⑧令和4年度に実施した事業の 主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○		○	○	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・農家と福祉、それぞれの立場からの現状や課題を共有するセミナーを開催し、相互理解を図った。 ・箱作り、袋詰め、選別、加工など福祉施設内でできる作業についても対応し、農業者側の人手不足解消、農産物の有効利用の一助になった。また福祉側も外作業以外で障がいのある方の就労の場を作ることができ、両者ともにメリットを感じてもらった。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○		○	○								
<p>③項目 分野12-3</p>	<p>○あぐりサポートセンターの運営 ・就農を希望する障がい者(福祉施設)と人手不足の農家をコーディネート ・就労相談、雇用相談、就農者の定着支援、農産物の加工の助言 ・農福連携セミナーの開催 (農家・福祉の現状と課題、これからの可能性) 開催日：令和6年3月7日 参加者：25事業所</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 (1)農福連携セミナー開催 農家・福祉の意見交換：25事業所参加 (2)あぐりサポートセンター活動状況 問い合わせ件数：26件 連携支援件数：277件 新規マッチング件数：18件</p>									
<p>④所管課 障がい福祉課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 4,398 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 4,398 千円</p>			<p>(目標設定) 上記のとおり実施</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 障がい者就業能力向上支援事業(障がい者就業能力開発プロジェクト事業)</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 障がいのある方の職業訓練や障がい者雇用に係る周知啓発を通して障がい者の職業能力を開発し、一般就労を促進することを目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ○各冊子を有効活用してもらえない配布先の開拓 例えば、精神病院に隣接する調剤薬局(精神障がいの方の短期離職が多いため)、大学・短大・専門学校など。その際、関係機関との調整が必要。 ○見学会の運営方法 実地開催とオンライン開催の基準の設定。 共催であるハローワーク新潟との調整。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○企業探訪については、ホームページ等による周知・広報へ転換し、印刷経費に縛られず好事例を幅広く紹介する。 (目標設定) ○企業と移行支援事業所とのつながる会の実施 令和5年度は18企業、12事業所で、24人の参加者があった。企業・事業所とも前年度以上の参加数目指す。</p>
<p>②分野 分野12 障がい者に 関する人権問題</p>	<p>事業の対象:障がい者、障がい者支援機関、企業、 啓発 ○ 研修 ○ 相談 その他</p>	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ○冊子を有効活用してもらえない配布先の開拓のため、障がい者支援機関への相談、検討を行った。</p>	
<p>③項目 分野12-4</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 ○冊子等による周知・広報 1.「はたらくためのガイドブック」 部数:2,100部 規格:A4判 カラー印刷 28ページ</p>		
<p>④所管課 障がい福祉課</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○市内の障がい者雇用事例を冊子やホームページで紹介し、雇用のノウハウ等を周知することで、障がい者雇用を促進。 市内131の企業・事業所・関係機関等に冊子を配布した。</p>	
<p>⑤令和5年度決算額 877 千円</p>			
<p>⑥令和6年度予算額 726 千円</p>			<p>(目標設定) 上記のとおり実施</p>

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟市精神医療審査会</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 精神障がい者の人権に配慮しつつその適正な医療及び保護を確保するために、精神科病院に入院している精神障がい者の処遇等について専門的かつ独立的な機関として審査を行う。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 ・入院患者からの退院等請求審査について、患者の主治医等からの意見聴取の日程調整に時間がかかり、請求から結果通知まで期間を要することがあった。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・市内にある精神科病院から提出された入院届等の書類審査を行い、市内の精神科病院で適正な医療及び保護が行われているかを確認する。 ・精神科病院に入院している患者からの退院請求や処遇改善請求について、意見聴取等を行った上で審査を行い、入院患者に適正な処遇が行われているかを確認する。 ・精神保健福祉法改正に伴い、新たに入院措置時の審査を行い、措置入院の決定が適当かを確認する。</p>							
<p>②分野 分野12 障がい者に 関する人権問題</p>	<p>事業の対象： <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> </p>			啓発	研修	相談	その他				○	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・審査会運営や意見聴取の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を講じて行った。 ・審査会の円滑な運営のため、病院からの提出書類の記載内容の確認を徹底した。 ・令和6年4月1日施行の精神保健福祉法改正に伴う審査量の増加に対応するため、台議体編成の変更や委員の増員について検討した。</p>
啓発	研修	相談	その他									
			○									
<p>③項目 分野12-5</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 ・入院届等の書類審査を行い、市内にある精神科病院で適正な医療及び保護が行われているかを確認した。 ・精神科病院に入院している患者からの退院等請求について、意見聴取等を行った上で審査を行い、入院患者に適正な処遇が行われているかを確認した。</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・市内にある精神科病院から提出された入院届等の書類審査(2651件)を行い、市内の精神科病院で適正な医療及び保護が行われていることを確認した。審査会委員より疑義があった内容について、継続審査を行った。 ・市内にある精神科病院に入院している患者からの退院請求や処遇改善請求について、意見聴取等を行った上で審査(63件)を行い、入院患者に適正な処遇が行われているかを確認した。</p>								
<p>④所管課 こころの健康センター</p>												
<p>⑤令和5年度決算額</p>												
	1,986 千円											
<p>⑥令和6年度予算額</p>												
	2,680 千円			<p>(R6目標設定) ・合議体開催回数27回</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 精神科病院実地指導</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 精神保健福祉法第38条の6の規定に基づき、精神科病院に対して実地指導を行うことにより、制度の適正な運用の確保と患者の人権擁護に資することを目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 実地指導に同行する精神保健指定医の確保を継続すること。同行指定医は、知識・経験を要する。また、拘束時間が長時間に及ぶことから、係る負担も大きい。医師数が減少する中、適切な人材を確保することが難しくなっている。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 管内10か所全ての精神科病院に対し、法令等で定められている実地指導を実施すること。 また、必要に応じて、臨時実地指導も実施すること。</p>						
<p>②分野</p>	<p>事業の対象：管内精神科病院(10病院)</p>			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点</p>							
<p>分野12 障がい者に 関する人権問題</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="362 1688 429 1845">啓発</td> <td data-bbox="362 1532 429 1688">研修</td> <td data-bbox="362 1375 429 1532">相談</td> <td data-bbox="362 1227 429 1375">その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="429 1688 496 1845">○</td> <td data-bbox="429 1532 496 1688"></td> <td data-bbox="429 1375 496 1532"></td> <td data-bbox="429 1227 496 1375">○</td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○			○	<p>精神保健指定医である新潟市精神医療審査会医療委員から実地指導の同行に協力していただいているところであるが、各委員へ実地指導を適正実施するために引き続き協力いただきたい旨を説明したうえ、精神科病院を含めた3者による日程調整を実施した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○			○								
<p>③項目 分野12-6</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 管内精神科病院に対し、法令等で定められた基準に基づく指導監督等を実施した。特に、入院患者の処遇については、行動制限、面会、信書、電話、金銭管理等に係る処遇が適切に行われているかを確認した。</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 管内10か所すべての精神科病院に対し、実地指導を実施した。 また、加えて、2病院に対し、臨時実地指導を実施した。</p>							
<p>④所管課 こころの健康センター</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 182 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 182 千円</p>					<p>(R6目標設定) ・管内精神科病院10か所での実施</p>						

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 精神障がい者が、住み慣れた地域で、本人の望む充実した生活を営めるよう保健、医療、福祉等関係機関の連携体制の構築を図り、入院患者の地域移行、並びに、精神障がい者が地域の一員として自分らしい生活を継続するための支援を推進する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ・新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」や事業実施において、精神障がい者当事者や家族の意見を具体的な取り組みに反映していく必要がある。 ・情報が必要な人に届く情報発信について検討していく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ・「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」全体会・ワーキンググループの開催 ・地域の支援者等に向けた研修会の開催 ・当事者団体、家族会などとの共同事業の実施(交流会など) ・一般市民を対象とした「心のサポーター養成研修」の開催</p>								
<p>②分野 分野12 障がい者に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：精神障がい者当事者・家族、地域の関係機関職員、行政関係職員、一般市民など</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 756 1845"> <tr> <td data-bbox="619 1384 667 1538">啓発</td> <td data-bbox="619 1538 667 1693">研修</td> <td data-bbox="619 1693 667 1845">相談</td> <td data-bbox="619 1845 667 2000">その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 1384 715 1538">○</td> <td data-bbox="667 1538 715 1693">○</td> <td data-bbox="667 1693 715 1845">○</td> <td data-bbox="667 1845 715 2000">○</td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○	○	○	○	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」において、当事者・家族委員の当事者目線の意見をとり入れて研修会等を企画することができた。 ・退院後の地域生活をよりイメージしてもらえようように、精神科病院の患者や職員を対象とした交流会を企画・開催した。 ・一般市民を対象とした「心のサポーター養成研修」について、令和4年度は感染症対策もふまえてオンライン開催としたが、令和5年度は対面開催とした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○	○	○								
<p>③項目 分野12-7</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるための協議の場として、令和2年度から設置している「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」全体会を2回開催。3つのワーキンググループで以下の取り組みを実施。 ・「人材育成班」：精神障がい者当事者・家族、地域の関係機関職員、行政関係職員などを対象とした研修会(対面1回、オンライン3回)を企画、開催。 ・「ピア活動班」：精神障がい者当事者・家族の交流会の他精神科病院患者・職員向けの交流会を企画、開催。 ・「企画・調査班」：精神障がい者の高齢の家族へのインタビュー調査の報告書作成、当事者へのインタビュー調査を実施。当事者アンケート調査の実施に向けた検討・準備。精神科訪問看護ステーションリストを更新。 ・一般市民を対象とし、メンタルヘルスの問題に関する普及啓発等を目的とした「心のサポーター養成研修」(2回)を国のモデル事業として開催。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ・研修会を毎年継続することで、地域の関係機関職員の人材育成に寄与している。 ・交流会では、精神障がい者当事者・家族等の参加者が、お互いに語り合い情報交換したりしたこと、地域でのつながりを感じてもらえるよい機会となった。また、精神科病院の患者や職員を対象とした交流会では、地域生活をイメージしてもらうことができた。 ・一般市民を対象とした「心のサポーター養成研修」は、申し込みがすぐに定員に達し、市民の関心の高さがうかがえた。</p>	<p>(R6目標設定) ・「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」の開催 (目標設定) 全体会2回 ・当事者団体、家族会などとの共同事業の実施 (目標設定) 4事業 ・「心のサポーター養成研修」の開催 (目標設定) 3回</p>								
<p>④所管課 保健衛生部 こころの健康センター</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 194 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 306 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

①事業名 発達障がい講座	⑦事業目的・事業の性質 人権についての理解を深める。 また、発達障がいの特徴を理解する。周囲の人はどう関われば良いのかを学び、誰もが自分らしく参加できる社会について考える。			⑨令和4年度の課題 「発達障がい」の認知度は上がってきていると考えるが、より多くの人が、より具体的に障がいを理解することが重要である。	⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 引き続き、より多くの人が発達障がいについて理解を深めることを目的として実施予定。 子どもの様子から発達障がいかもしれないなどと考えている保護者や周囲の大人などが、発達障がいについて正しい情報を得て、関わり方を考える機会を提供する。
②分野	事業の対象：一般(対象の制限なし)			⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 開催予定日：令和6年11月	
分野12 障がい者に 関する人権問題	啓発	研修	相談	より多くの人に受講してもらえるようオンライン講座と対面のハイブリッド形式で実施した。	
③項目 分野12-8	⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 誰もが尊重され、生きにくさを感じることなく自分らしく参加できる社会について考えた。 テーマ：「発達障がいの理解」 講師：新潟青陵大学福祉心理子ども学部 准教授 本間 優子 氏 開催日：令和5年10月27日(金) 参加者数：30名			併せて、対象者を「テーマに関心のある方」と広く設定した。	
④所管課 小針青山公民館	①令和5年度の成果や実施結果 対面参加者23名、オンライン参加者7名の計30名の参加があった。ハイブリット形式で実施したことにより、効率的に参加者を受け入れることができた。 また、対象者を広く設定したことにより、関係者や当事者など様々な立場の人が参加することに繋がった。 講師の話も大変わかりやすく、受講者アンケートでは、満足度、気づきとも96%の高評価を得た。				(目標設定) 参加者アンケートによる満足度9割以上を目指す。また、現在悩みを抱えている当事者や周囲の人が相談窓口へ繋がることのできるよう適切な情報を提供する。
⑤令和5年度決算額 15 千円					
⑥令和6年度予算額 13 千円					

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 人権講座「発達障がい？それとも個性？」 (会場・オンライン講座)</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 発達障がいの特性と、それに類似した他の症状を学び、幼児期から大人までのそれぞれの発達段階で、家庭・学校・職場・地域ではどのようなサポートが必要なのかを考える。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ○令和4年度は別の分野「LGBTQ等性的マイノリティに関する人権問題」で開催した。会場へ来れない方も参加しやすいようオンラインでの開催を企画する。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○オンライン活用講座として「人権講座」を開催する。インターネット環境が整備されていないため、オンライン開催のみとする。 ○内容やテーマは活動協力員などと企画して決める。</p>								
<p>②分野 分野12 障がいに 関する人権問題</p>	<p>事業の対象：一般市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑩令和5年度に実施した事業の 主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に実施した点や検討した点 ○会場とオンライン参加が可能なハイブリッド形式で開催した。 ○2人の講師から「子どもの発達障がい」「大人の発達障がい」についての事例や支援の方法など、2部に分けて講演いただいた。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野12-9</p>	<p>実施日：令和6年3月9日(土) 会場：山の下まちづくりセンター 会議室1 内容： 第1部「発達障がいとは、子どもの発達障がいについて」 講師 スクールカウンセラー・臨床心理士 門野慎一さん 第2部「大人の発達障がいについて」 講師 新潟市発達障がい支援センターJOIN相談員 金子雄企さん 参加者数：会場33人、オンライン42人</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○市内の小中学校や高等学校へチラシを送付し、多くの学校関係者からの参加申し込みがあったほか、様々な立場の方が参加された。 ○会場・オンライン合わせて100人の申込があった。 ○講師の話が分かりやすく、アンケートの内容を見ると満足度は100%で、感想をたくさん書かれた方が多かった。学んだことを生かしたいと答えられた方は100%であった。</p>									
<p>④所管課 中地区公民館</p>											
<p>⑤令和5年度決算額</p>											
<p>16千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額</p>											
<p>18千円</p>			<p>(R6目標設定) ○講座満足度目標値80%以上</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 発達障がいを持つ子どもに対する親の在り方、親のできるこ</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 すべての市民が互いに人格と個性を尊重しながら、安心して暮らすことができる共生社会の実現を図ることを目的とする。</p>		<p>⑨令和4年度の課題 市民の発達障がい者に対する理解の促進が不足している。</p>		<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) さまざまな世代の参加を図る。引き続き、多様性を認め合う共生社会の実現へ向けた学習機会を設ける。</p>
<p>②分野 分野12 障がい者に 関する人権問題</p>	<p>事業の対象： 啓発 ○ 研修 相談 その他</p>				
<p>③項目 分野12-10</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 発達障がいを持つ子どもへの対応の仕方、支援の 法について具体的に学ぶ。 会場：石山地区公民館 対象：一般市民 開催日：令和6年1月26日(金)午前10時から正午 定員：40人</p>				
<p>④所管課 石山地区公民館</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 参加者数41人 発達障がいを持つ子どもの親以外の参加も多数あった。発達障がい児への接し方が体験談により具体的に学習できた。</p>				
<p>⑤令和5年度決算額 15千円</p>	<p>(R6目標設定) 受講者アンケートの満足度90%以上を目標とする。</p>				
<p>⑥令和6年度予算額 15千円</p>					

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 「新潟市ミニ人権展」への協力</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 「新潟市ミニ人権展」において、同和問題に対する正しい認識をもつための啓発を目的としたパネルを展示する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 多くの方に、歴史的に正しい認識を持ってもらうために、今後も継続してパネル展示を行っていく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 「新潟市ミニ人権展」でのパネル展示 期間:令和7年1月頃 会場:新潟市中央図書館 正面玄関 内容:江戸時代の新潟町の被差別民が担った仕事や役割を説明したパネル展示をする。</p>								
<p>②分野 分野13 同和問題</p>	<p>事業の対象:市民全般(特に小中学生)</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 令和5年度は展示スペースを確保し、必要なパネルを流れもわかるようにして全て展示した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野13-2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 「新潟市ミニ人権展」でのパネル展示 期間:令和6年1月13日(土)~2月6日(火) 会場:新潟市中央図書館 エントランスホール 内容:江戸時代の新潟町の被差別民が担った仕事や役割を説明したパネルを展示した。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 江戸時代の新潟町の被差別民が担った仕事や役割について、「江戸時代の新潟町のキヨメ役の人たちの仕事役割」というテーマでパネルを展示した。</p>									
<p>④所管課 歴史文化課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>			<p>(R6目標設定) 説明パネルの内容が適切かどうかを確実に確認した上で、上記のとおり実施する。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 多文化共生のまちづくり</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 災害時における在住外国人支援体制を構築する。また、すべての外国籍市民に必要な情報発信が可能となるように「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組む。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 災害時における外国籍市民のニーズを探る必要がある。また、外国籍市民が地域の構成員として生活していけるよう、外国籍市民にも暮らしやすい環境づくりへの取り組みが必要。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○災害時外国人支援事業 ・災害時外国人支援コーナーディネーター養成研修の受講。 ・「災害時多言語支援センター」の運営マニュアルを見直す。 ○やさしい日本語の普及啓発 ・すべての外国籍市民に必要な情報発信が可能となるように、やさしい日本語の普及・啓発に取り組む。 ・国や県等が開催する研修やセミナーへ参加する。 ・庁内向けの研修の開催や、普及・啓発に取り組む。</p>								
<p>②分野 分野14 外国籍市民等に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：外国籍市民等</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○	○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ○やさしい日本語の普及啓発 自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザーを講師に招き、質の高い講演・演習を提供することができ、本市職員の受講者の理解を促進した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○	○										
<p>③項目 分野14-1</p>	<p>○災害時外国人支援事業 災害時における外国人への支援セミナー受講 外国人在留支援センター(FRESC)視察</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○災害時外国人支援事業 研修と視察により、災害時の外国人支援における課題等について理解を深めた。 ○やさしい日本語の普及啓発 実際に研修を受けてもらうことで、やさしい日本語を、より身近に感じてもらうことができた。</p>									
<p>④所管課 国際課</p>	<p>○やさしい日本語の普及啓発 新潟市中央区社会福祉協議会主催 一般向け研修講師 1回 参加者数 20名 市職員・国際交流協会・社会福祉協議会向け研修 1回 参加者数 25名 新潟市立中央図書館ほんぽーと企画展示 1回 新潟市国際交流協会企画展示 1回</p>										
<p>⑤令和5年度決算額</p>	<p>116 千円</p>		<p>(R6目標設定) ○災害時外国人支援事業 災害時外国人支援コーナーディネーター養成研修の受講 1回</p>								
<p>⑥令和6年度予算額</p>	<p>316 千円</p>		<p>○やさしい日本語の普及啓発 職員向け研修 1回 市民向け啓発イベント 1回</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 外国籍市民等及び留学生への支援</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 在住外国人と留学生の生活を支援することで、多文化共生のまちづくりにつなげる。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ○日本語学習支援講座 コロナ禍でも対面式ワークショップができるよう工夫が必要。 ○外国語による窓口相談 外国人相談者の増加が予想されるため、言葉の壁による意思疎通の対応に工夫が必要。 ○留学生国民健康保険料助成 資金の確保について引き続き検討する。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○日本語講座 ○日本語学習支援講座 ○外国語による窓口相談 ○外国語による窓口相談 ○医療通訳関係事業 ○「新潟市へようこそ！」資料配布 ○災害時多言語支援センター設置 ○留学生国民健康保険料助成</p>								
<p>②分野 分野14 外国籍市民等に関する人権問題 分野8 人権救済のための相談制度の充実等</p>	<p>事業の対象:外国籍市民等</p> <table border="1" data-bbox="502 1288 683 1870"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>助成 ○</td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他		○	○	助成 ○	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ○日本語講座 コロナ感染予防に留意しながら実施した。 ○日本語学習支援講座 対面式で実施した。</p>	<p>(R6目標設定) ○日本語講座:年2回コースの開催 ○日本語学習支援講座:年2回開催 ○外国語による窓口相談:月曜から土曜までの開設、弁護士による無料法律相談と無料医療相談会の実施 ○医療通訳関係事業:通訳登録者研修の開催 ○「新潟市へようこそ！」資料配布:紙及びURL版の作成 ○災害時多言語支援センター設置:訓練の実施 ○留学生国民健康保険料助成:財源の確保</p>
啓発	研修	相談	その他								
	○	○	助成 ○								
<p>③項目 分野14-2 (再掲)分野8-6</p>	<p>○日本語講座 外国籍市民等を対象に、春コース、秋コースを学習段階別にクラスを設け、受講者のレベルに合わせた授業を行った。 ○日本語教育推進 日本語学習支援経験者のスキルアップのため、春と秋に日本語学習支援講座を開催した。 ○外国語による窓口相談 学習支援教室「にこばる」を開設し、日本語を母語としない子どもたちの学習を支援した。 ○外国語による窓口相談 多言語に対応する相談窓口を月曜から土曜まで開設した。また、弁護士による無料法律相談会や無料医療相談会を「外国籍住民のための医療相談会実行委員会」と共催で行った。 ○医療通訳関係事業 COMISとN-micが行う通訳登録者研修の実施及び医療通訳者の派遣活動を支援した。 ○留学生国民健康保険料助成 国民健康保険に加入している私費留学生を対象に、年5,000円を助成し、保険料負担の軽減を図った。</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○日本語講座 ＜春コース＞令和5年3月28日～9月1日 57名 ＜秋コース＞令和5年9月26日～令和6年3月1日 55名 ○日本語学習支援講座 春編:令和5年10月14日(土) 参加者23名 秋編:令和6年3月9日(土) 参加者9名 にこばる ＜にこばるクラブ＞参加者111名(延べ) ○外国語による窓口相談 相談件数160件(電話相談を含む) 無料法律相談会相談件数7件 無料医療相談会相談件数5名 ○医療通訳関係事業 通訳登録者研修3回 通訳者派遣延べ12回 ○留学生国民健康保険料助成 給付件数187件、給付額935,000円</p>									
<p>④所管課 国際課 (公財)新潟市国際交流協会)</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 4,839 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 5,779 千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

①事業名 エイズ対策推進	⑦事業目的・事業の性質 エイズ患者・感染者・家族等への差別や偏見の解消のため、イベントや健康教育、相談・検査等、さまざまな機会を通じて人権に配慮した正しい知識の普及・啓発活動の推進を図ります。			⑨令和4年度の課題 ・より多くの方にHIV検査について知ってもらい、気軽に受けられる検査体制を維持する。 ・新型コロナウイルス感染症の状況から、イベント実施は難しいが、できる形での広報等を検討し、実施する。 ・専門学校や大学等現地に赴いての研修型の健康教育が実施できていない。性行動が活発になる若年層をターゲットに、より効果的な教育の方法を検討する必要がある。	⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 【HIV検査・相談】 ・無料・匿名の検査・相談を継続する。 ・即日検査を月1回実施し、より多くの検査を必要とする方が受検できるように、維持・整備していく。 【HIV検査普及週間】 ・普及週間内の即日検査実施。 ・市の広告媒体を利用した効果的な普及啓発活動を実施。 ・各学校へのHIV感染症・その他性感染症検査の普及啓発の実施。 ・ラジオでの啓発、新潟市内体育館でのポスター・啓発ティンシュ設置。 【世界エイズデー2024】 ・特例即日検査の実施。 ・市の広告媒体を利用した効果的な普及啓発活動を実施。 ・検査を必要とする幅広い世代に向けた普及啓発活動を実施。 【健康教育事業】 ・対面に拘らず、幅広い手段で健康教育を計画し、必要な方へ必要な情報が届くような内容を検討する。
②分野 分野15 HIV感染症患者、ハンセン病患者等に関する人権問題	事業の対象：全市民			⑩令和5年度に対処・工夫した点や検討した点 【HIV検査・相談】 ・自分自身やパートナーの身体のことを考えた行動がとれる保健指導を実施した。 【HIV検査普及週間】 ・ラジオ出演などを活用し、HIV検査の周知。 【世界エイズデー2023】 ・新潟青陵大学の学園祭でHIVの啓発と特例即日検査を実施した。 ・保健所の通常検査を時間を2時間延長して実施した。 【健康教育事業】 ・専門学校・大学で対面講義を実施した。実施できなかった学校についてはリーフレットを配布した。	
③項目 分野15-1	⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 【HIV検査・相談】 ・(通年)無料・匿名のHIV検査・相談を実施。 ・通常検査は週2回、即日検査は月1回 【HIV検査普及週間】 ・市ホームページ、市報、市LINE、BSNラジオで啓発を実施。 ・市内の中学校、高校、専門学校、大学計166校に啓発チラシ計3220枚を配布。 ・市内体育施設に啓発カード入ティンシュを配布。 【世界エイズデー2023】 ・新潟青陵大学の学園祭でHIV啓発と特例即日検査を実施。HIV啓発は学生有志が中心となり実施した。 ・市内の中学校、高校、専門学校、大学へポスターを配布。市内体育施設に啓発カード入ティンシュを配布。 ・市報、市HP、市LINE、ラジオ等での啓発を実施。 ・性感染症Instagramを立ち上げ、WEB広告掲載。 【健康教育事業】 ・対面で専門学校・大学に健康教育実施。専門学校・大学に啓発リーフレット配布。 ・HIV基礎研修会の開催(高齢者施設、養護教諭、関係職種が対象)				
④所管課 保健管理課	⑪令和5年度の成果や実施結果 【HIV検査・相談】 (通常)検査:934件 相談:1497件 (即日)検査:272件(うち特例検査73件) HIV感染症への不安を傾聴し、感染経路や感染予防方法等、正しい知識を伝えられた。 【HIV検査普及週間】 市内166校に啓発チラシ配布 市内体育施設に計2000個の啓発ティンシュを配布 【世界エイズデー2023】 新潟青陵大学学園祭では啓発ブースに約200人が来場した。特例検査は73人が受検した。 市内166校に啓発カード入ティンシュ4000個配布。 大学・専門学校に啓発カード入ティンシュ4000個配布。 市内体育施設に2000個配布 【健康教育事業】 コロナが5類になり、対面講義を再開。5校8回実施した。4校にリーフレットを配布。 HIV基礎研修会参加数:67機関、81人				
⑤令和5年度決算額 6,955 千円				(R6目標設定) ・通常検査に加え即日検査を月1回実施を継続する。必要時定例外での即日検査を実施する。 ・専門学校や大学等に継続して健康教育を実施する。 ・HIV検査普及週間やエイズデーでは、幅広い層に周知できるように、ポスター配布啓発ティンシュ・ホームページ・市報・ラジオ・デジタルサイネージ等で広報を実施する。	
⑥令和6年度予算額 8,031 千円					

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 ハンセン病対策推進</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 ハンセン病患者・感染者への差別や偏見の解消のため、さまざまな機会を通じて人権に配慮した正しい知識の普及・啓発活動の推進を図ります。また普及啓発活動や新潟県出身者入所者の里帰り事業・県出身者が入所している療養所への訪問事業などに活用するために募金活動を行います。</p>		<p>⑨令和4年度の課題 令和3年度及び令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染する/させるリスクを考慮し、訪問事業を中止していたが、令和5年度より訪問事業が再開された。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ハンセン病募金事業 ・「ハンセン病募金強調月間」のポスター掲示 ・ハンセン病患者・家族への補償金のポスター掲示 ・保健所窓口における募金箱の設置 ・市役所内での募金の協力依頼 ・ハンセン病療養所訪問事業への参加</p>								
<p>②分野 分野15 HIV感染症患者・ハンセン病患者等に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：一般市民およびハンセン病患者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>募金</td> </tr> </table>		啓発	研修	相談	その他	○			募金	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ・「ハンセン病募金強調月間」のポスター掲示 ・保健所窓口における募金箱の設置 ・市役所内での募金の協力依頼 ・ハンセン病訪問事業は令和5年度は2回案内がきたが、定員オーバー、日程の都合が合わず、2回とも参加できなかった。</p>	
啓発	研修	相談	その他									
○			募金									
<p>③項目 分野15-2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 [ハンセン病募金事業] ハンセン病を正しく理解してもらうための普及啓発活動や新潟県出身者入所者の里帰り事業・県出身者が入所している療養所への訪問事業などに活用するために募金活動を行った。</p>		<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ハンセン病の元患者等を支援している新潟県藤楓会(会長 花角英世)が実施する募金活動に協力するもの。 ・「ハンセン病募金強調月間」のポスター掲示 ・保健所窓口における募金箱の設置 ・市役所内での募金の協力依頼</p>									
<p>④所管課 保健所保健管理課</p>												
<p>⑤令和5年度決算額</p>												
<p>0千円</p>												
<p>⑥令和6年度予算額</p>												
<p>0千円</p>				<p>(R6目標設定) 新潟県藤楓会の活動支援</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟水俣病市民講座①</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 新潟水俣病を正しく理解し、教訓を伝えるとともに、阿賀野川流域地域の融和と再生などを図ることを目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 毎年、新たな対象となる学生及び市民に参加してもらい、新潟水俣病を知ってもらう機会を提供している。 より多くの人に水俣病について理解をしてもらう機会を作ることが必要であるが、一般向けの講演会形式では受講者の固定化が生じたことを踏まえ、次世代を担う子どもや学生を中心に、対象を絞って事業を行っている。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 次世代を担う子どもや学生を中心に、新潟水俣病を伝えていく。</p>								
<p>②分野 分野16 新潟水俣病に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：市内小学5・6年生及び保護者、大学生及び市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1229 759 1845"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを踏まえ、コロナ前の開催方法に戻した。 ①定員数を40組・80名とした。 ②対面式の講義のみとした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野16-1</p>	<p>広く市民に水俣病を知ってもらうため市民講座を開催</p> <p>①【Olalaga!!新潟水俣病をみて・ふれて】 開催日：令和5年7月30日(日) テーマ：親子で行く！阿賀野川流域「ほんもの体験」ツアー 参加者：市内在住小学5・6年生の親子39組(79名)</p>	<p>①令和5年度の成果や実施結果</p> <p>①のアンケートで「役に立った」「とてもよくわかった」が84.8%であった(前年度89.3%)。 ②のアンケートで「よく理解できた」が69%であった(前年度77.8%)。</p>									
<p>④所管課 保健衛生総務課</p>	<p>内容：企業城下町・鹿瀬の工場跡など現地見学、語り部映像(元船頭の新潟水俣病被害者からのお話)視聴、中流域の産業体験</p> <p>②【新潟水俣病 新潟大学公開講座】 開催日：令和5年11月29日(水) 会場：新潟大学五十嵐キャンパス 講師：藤田伸一 氏 (県立環境と人間のふれあい館・館長) 参加者：86名</p>										
<p>⑤令和5年度決算額</p>	<p>676 千円</p>										
<p>⑥令和6年度予算額</p>	<p>812 千円</p>										

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟水俣病市民講座②</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 新潟水俣病を正しく理解し、教訓を伝えるとともに、阿賀野川流域地域の融和と再生などを目的とする。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 多くの方から水俣病に関心を持ってもらい、水俣病に対する理解と地域の融和と再生を図ることを目的とし、これからも継続してパネル展示を開催していくことが必要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 今後多くの方から水俣病に関心を持ってもらうため、継続して新潟水俣病を伝えていく。</p>								
<p>②分野 分野16 新潟水俣病</p>	<p>事業の対象：市民</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 掲示内容を更新した。 パネル展示を観た市民の声を反映させ、引き続き裁判に係る展示内容を追加した。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
○											
<p>③項目 分野16-2</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p> <p>広く水俣病を知ってもらうためパネル展示を開催 ①開催日：6月13日(火)～6月23日(金) 会場：内野まちづくりセンター ②開催日：7月6日(木)～7月19日(水) 会場：豊栄図書館 ③開催日：8月1日(火)～8月10日(木) 会場：新潟市生涯学習センター ④開催日：11月6日(月)～11月17日(金) 会場：新潟医療福祉大学 ⑤開催日：11月21日(火)～12月7日(木) 会場：新潟大学五十嵐キャンパス図書館</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 多くの方が立ち寄る場所でパネル展示を行い、関心のなかった人も含め多くの方に新潟水俣病を知ってもらう機会となった。</p>									
<p>④所管課 保健衛生総務課</p>	<p>①の内容は 新潟水俣病のあらかし・差別・偏見 阿賀野川流域 水との闘い・水の恵み ②～⑤の内容は 新潟水俣病のあらかし・差別・偏見 阿賀野川の水のゆくえ、光と影をたどる旅</p>										
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 50千円</p>			<p>(R6目標設定) 取組みを維持しつつ、より理解が進むように 掲示内容を精査する。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟水俣病職員研修</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 新潟水俣病について、職員の知識・理解を深めることを目的とし、阿賀野川流域地域の融和と再生、住民の健康不安の解消などをめざす新潟水俣病対策に資するための研修を実施。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 新潟市の職員として、新潟水俣病に対する知識・理解を深めるための研修の継続は引き続き必要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 今なお続く問題であることを理解してもらいながら、人権啓発活動を継続する。</p>								
<p>②分野 分野16 新潟水俣病 分野1 市職員に対する人権教育・啓発</p>	<p>事業の対象：市職員及び市教職員</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 759 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p> <p>新任係長, 新規採用職員及び人権教育担当教職員研修の実施。 ○開催日：令和5年4月17日(月) 対象：新任係長 92名 ○開催日：令和5年6月15日(木) 対象：新規採用職員 135名 ○開催日：令和5年4月～6月 資料配布し、期間内に各自で受講 対象：人権教育担当教職員 167名</p>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 啓発用DVD視聴後の講義では、重複した内容を控えつつ、現在も認定申請や訴訟が後を絶たない等、現在も続いている課題であることの説明を増やした。</p>	<p>(R6目標設定) 取組みを維持しつつ、より理解が進むように内容を精査し、啓発を継続する。</p>
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野16-3 (再掲)分野1-9</p>		<p>①令和5年度の成果や実施結果</p>									
<p>④所管課 保健衛生部 保健衛生総務課</p>		<p>職員に研修を実施することで、新潟水俣病患者の理解及び差別や偏見をなくすことの必要性の理解に役立った。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 環境学習</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 子どもたちが、新潟水俣病の歴史と人権問題を把握して、人と人との絆の大切さや差別・偏見なく公平・公正に正義の実現に努めていけるために、また環境問題を身近なものとしてとらえていけるよう、環境の大切さと新潟水俣病のような悲劇を繰り返さないための知識、行動力、意欲を育んでいくことを目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 特に次世代を担う小中学生に新潟水俣病を広く伝えていくことが必要であると考え、全区にわたる指定校及び希望校に分けてモデル校を選定している。 今後も教育委員会と連携しながら、次世代を担う子ども達に継続して新潟水俣病を伝えていくことが重要である。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 今後も次世代を担う小中学生に継続して新潟水俣病を伝えていく。</p>								
<p>②分野 分野16 新潟水俣病 分野3 学校における人権教育の推進 分野10 子どもに関する人権問題</p>	<p>事業の対象：市内小中学校</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1848"> <thead> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p>			啓発	研修	相談	その他	○				<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 昨年度に引き続き、県立環境と人間のふれあい館にて実施していた学習成果発表会に代わり、各校単位で学習発表会を開催してもらった。</p>	
啓発	研修	相談	その他										
○													
<p>③項目 分野16-4 (再掲)3-15 (再掲)10-7</p>	<p>市内11校の小中学校で実施。 水俣病に関連のある取組みに対し、係る経費を155千円を上限に負担した。 ○実施校 葛塚小(北区) 南浜中(北区) 東山ノ下小(東区) 浜浦小(中央区) 女池小(中央区) 丸山小(江南区) 結小(秋葉区) 根岸小(南区) 白南中(南区) 五十嵐小(西区) 潟東小(西蒲区)</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 次代を担う小中学生に、環境学習を実施することは、新潟水俣病を身近な問題として考えることができ、差別や偏見をなくすことに役立った。</p>									
<p>④所管課 保健衛生総務課</p>													
<p>⑤令和5年度決算額 1,300 千円</p>													
<p>⑥令和6年度予算額 2,015 千円</p>					<p>(R6目標設定) 取組みを維持しつつ、より教職員が取り組みやすいように、支援内容を精査する。</p>								

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 拉致問題解決に向け た啓発事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 市民に拉致問題や特定失踪者の問題について理解を 深め、関心を持ち続けてもらうとともに、問題解決に向 けた世論喚起を目的とする。</p>			<p>⑨令和4年度の課題 令和2年6月に横田めぐみさんの父・滋さんが逝去 されるなど、拉致被害者家族は高齢化が進んでお り、拉致問題解決にはもはや一刻の猶予がないた め、早期全面解決に向けた一層の機運醸成が望 まれる。 また、市民の拉致問題に対する関心の低下、特に 若年層の関心の低下を懸念している。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 引き続き拉致被害者の帰国が実現すること を目指し、真や関係機関等と連携しながら 問題解決に向けた世論喚起を図るとも に、政府をあげて全力で取り組み、ことを国へ 要望していく。</p>
<p>②分野 分野17 北朝鮮当局に よる拉致被害者に関す る人権問題</p>	<p>事業の対象・市民 事業の対称・市民</p>			<p>⑩令和5年度に対称・工夫した点や検討した点 ○市民啓発のため、曾我ひとみさんを招いた講演 会を開催し、これまでの体験や母ミヨジさんへの想 いなどについて対談形式で語っていただいた。 ○市民啓発のため、市役所本庁舎外壁に横田め ぐみさんの救出と大澤孝司さんの拉致被害者認 定を求めるラッピングシートを設置した。</p>	
<p>③項目 分野17-1</p>	<p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容 ○【懸垂幕・横断幕の掲示①】 市役所本館に懸垂幕を掲示 ○【懸垂幕・横断幕の掲示②】 市役所分館に横看板を掲示 ○【懸垂幕・横断幕の掲示③】 西蒲区役所に横断幕を掲示 ○【パネル展の実施①】 拉致問題を考える区巡回パネル展 ○【パネル展の実施②】 拉致問題を考えるパネル展(北朝鮮人権侵害問題啓発 週間) ○【上映会の開催】 「めぐみへの誓い」上映、署名活動 来場者 60名 「めぐみ～引き裂かれた家族の30年～」上映、パネル展、 署名活動 来場者 65名 ○【県民集会】 忘れなな拉致県民集会の開催 来場者 約650名 ○【講演会】 曾我ひとみさんを招いた講演会の開催 来場者 約150名 ○【啓発用ラッピングシートの設置】 市役所本庁舎外壁に横田めぐみさんの救出と大澤孝司さ んの拉致被害者認定を求めるラッピングシートを設置 ○【ブルーリボンの着用】 拉致被害者を取り戻す強い決意を発信するため、北朝鮮 人権侵害問題啓発週間にブルーリボンをデザインした職員 名札を着用</p>			<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 忘れなな拉致県民集会には約650名、曾我ひと みさんを招いた講演会には約150名の来場者に 来ていただき、若年層を含む、多くの方に拉致問 題の啓発を行うことができた。</p>	
<p>④所管課 防災課</p>					
<p>⑤令和5年度決算額 684 千円</p>					
<p>⑥令和6年度予算額 1,000 千円</p>					<p>(R6目標設定) 拉致被害者の早期帰国及び拉致問題の全 容解明</p>

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 性的マイリテイ支援事業</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 性的マイリテイに対する差別や偏見をなくし、誰もが自分らしく暮らせる社会を目指す。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 ○パートナーシップ宣誓制度について、制度の周知を広めることが課題である。 ○引き続き性の多様性に関する講座や研修会を開催するなど、広く市民や市職員への理解を広めることが必要。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) ○性の多様性と人権に関する出前講座LGBTQ市民スピーカーを団体や企業等へ派遣する。 ○啓発事業 市民が人権(LGBT)について考える機会とするための講演会を開催 ○電話相談 当事者やご家族などからの相談に応じる。(月1回) ○パートナーシップ宣誓制度の運用</p>								
<p>②分野 分野18 性的マイリテイに関する人権問題 分野8 人権救済のための相談制度の充実等</p>	<p>事業の対象:性的マイリテイ当事者の方及び全ての市民</p> <table border="1" data-bbox="533 1413 730 1861"> <tr> <th>啓発</th> <th>研修</th> <th>相談</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>制度</td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容</p> <p>○啓発事業 当事者の生きづらさを軽減し、性的マイリテイについて市民の理解を深めるため、以下の事業を実施。 【性の多様性について理解を深めるための講演会】 ・参加者61件 【出前講座(市政さわやかトーク宅配便)】 ・開催回数:2回(参加者数延べ200人) ※市民スピーカー派遣 【市報にいがたに特集の掲載】 ・性的マイリテイに関する基本的な知識や当事者等へのインタビュー、パートナーシップ宣誓制度の概要を掲載。 ○電話相談 当事者や当事者かもしれないと悩んでいる方、ご家族などからの相談に応じた。 ・相談件数:延べ37件 ○その他 パートナーシップ宣誓制度に親族を家族として認める「ファミリーシップ」を追加。 パートナーシップ宣誓書受領証を交付。 ・パートナーシップ宣誓書受領証交付件数:5件</p>	啓発	研修	相談	その他	○		○	制度	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 ○講演会や市民スピーカーによる講座、市報への記事の掲載により、幅広い年代に広く啓発を行うことができた。 ○パートナーシップ宣誓制度にファミリーシップを追加し、改めてプレスリリースや市報による広報を行うことで、制度の周知を図った。</p>	<p>(R6目標設定) 上記事業の着実な実施</p>
啓発	研修	相談	その他								
○		○	制度								
<p>③項目 分野18-1 (再掲)分野8-5</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 ○当事者への支援と市民向けの啓発を組み合わせて行うことにより、性の多様性を理解し、認め合える環境づくりを行った。 ○互いの個性や多様性を認め合い、性的指向や性自認にかかわらず誰もが自分らしく暮らすことのできる社会の実現を目指して、パートナーシップ宣誓制度を継続実施した。</p>										
<p>④所管課 男女共同参画課</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 482千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 664千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 犯罪被害者等支援にかかるとる庁内連絡会議</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 本市における犯罪被害者等支援に関する情報を共有し、犯罪被害者等のニーズに応じた総合的な支援を効果的に推進する。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 見舞金に次いで条例に基づく助成金制度等も始まり、あわせて支援推進計画の策定も進んでいることから、犯罪被害者等への対応や各種支援制度についての知識の習得が必要になっている。加えて市職員については人事異動による交代もあることから、機会を捉えながら、継続的に同様な会議を実施していく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 今後、市犯罪被害者等支援推進会議や市民アンケートなどを通じ、犯罪被害者等支援に関するニーズを把握しながら制度の拡充に取り組んでいく必要があることから、関係職所属間の情報共有を図るために継続的に庁内連絡会議を開催していく。</p>								
<p>②分野 分野19 犯罪被害者等に関する人権問題</p>	<p>事業の対象：犯罪被害者等支援にかかるとる庁内所属の 長</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>会議</td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の 主な取組内容</p>	啓発	研修	相談	その他				会議	<p>⑩令和5年度に对应・工夫した点や検討した点 4月から本市犯罪被害者等支援推進計画の運用が開始され、また、6月には国による犯罪被害者等支援の一層の推進に向けた改革が発表されたことを受け、早い時期に庁内連絡会議を開催することで、タイミングを逃さずに関係所属に対する情報共有を行うことができた。 本庁舎以外の所属も多いことからzoomを活用したオンライン開催とした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
			会議								
<p>③項目 分野19-1</p>	<p>zoomによるオンライン形式で庁内連絡会議を開催した。 開催日時 令和5年7月26日(水) 14時～15時 内容 新潟市犯罪被害者等支援について 市民生活課安心・安全推進室担当から説明 参加者 市職員 26名</p>	<p>⑪令和5年度の成果や実施結果 本市の犯罪被害者等支援推進計画の内容や国の被害者等支援推進に向けた動きについて、関係所属間の情報共有を図ることで、犯罪被害者等に対する総合的な支援のための、庁内の円滑な連携体制の構築につなげることができた。</p>									
<p>④所管課 市民生活課 安心・安全推進室</p>											
<p>⑤令和5年度決算額</p>											
<p>0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額</p>											
<p>0千円</p>											

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 市職員等を対象とした犯罪被害者等支援研修</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 犯罪被害者等による講演や支援の事例検討を通じて、職員等の意識や対応力の向上と連携体制の強化を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 見舞金に次いで条例に基づく助成金制度等も始まり、あわせて支援推進計画の策定も進んでいることから、犯罪被害者等への対応や各種支援制度についての知識の習得が必要になっている。加えて市職員については人事異動による交代もあることから、機会を捉えながら、継続的に同様な研修を実施していく必要がある。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 今後、市犯罪被害者等支援推進会議や市民アンケートなどを通じ、犯罪被害者等支援に関するニーズを把握しながら制度の拡充に取り組んでいく必要があることから、関係職員間での情報共有を図るとともに意識や対応力の向上に努めるためにも継続的に研修を開催していく。</p>								
<p>②分野 分野19 犯罪被害者等に関する人権問題 分野1 市職員に対する人権教育・啓発</p>	<p>事業の対象：犯罪被害者等の支援制度を所管し相談窓口となる可能性のある業務を担当する市職員等</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 756 1843"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 担当職員向けの研修を開催した。</p>	啓発	研修	相談	その他		○			<p>⑩令和5年度に对应・工夫した点や検討した点 県内で唯一の犯罪被害者等の相談・支援の専門機関である「公益社団法人いしかた被害者支援センター」の活動状況について、業務統括者である専務理事から直接ご説明いただいたことと、自らも犯罪被害者である同センター理事から事例検討のグループワーク講師を務めていただくことで、県内の犯罪被害者等を取り巻く状況や支援についての理解の促進につながる研修とした。</p>	
啓発	研修	相談	その他								
	○										
<p>③項目 分野19-2 (再掲)分野1-10</p>	<p>開催日時 令和6年3月1日(金) 9時30分～12時 開催場所 市役所本館 6階 講堂 内容 ①「本市における犯罪被害者等支援について」 市民生活課 安心・安全推進室 担当から説明 ②講演「(公社)いしかた被害者支援センターの活動について」 講師 公益社団法人いしかた被害者センター 専務理事 井口善雄氏 ③グループワーク「新潟市における犯罪被害者等支援を考える」 講師 公益社団法人いしかた被害者センター 理事 中曽根えり子氏</p>	<p>①令和5年度の成果や実施結果 犯罪被害者等の相談対応や各種制度の活用に関係先となる所属からも幅広い参加があった。 犯罪被害者等支援にかかる基礎的な内容や本市の取組に加え、被害者支援センターによる支援内容についての情報共有ができ、また、事例検討により具体的な支援のニーズについてのグループワークをすることで、参加した職員の意識と知識の向上につながった。</p>									
<p>④所管課 市民生活課 安心・安全推進室</p>											
<p>⑤令和5年度決算額 29 千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0 千円</p>	<p>参加者 市職員 13名</p>		<p>(R6目標設定) 年度内1回以上の研修の開催</p>								

令和5年度実施事業調査票

①事業名 新潟市人権教育・啓発推進委員会	⑦事業目的・事業の性質 新潟市人権教育・啓発推進計画に基づく人権教育・啓発の施策や事業の進捗状況を評価・検証するため、人権教育啓発推進委員として意見する。学識経験者、関係行政機関の職員、関係団体の職員、公募による市民の外部委員9名で構成			⑨令和4年度の課題 資料のボリュームが多く、委員会で全体を議論できるよう運営するのが難しい	⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 例年の人権施策の評価・検証に加え、今年度は新潟市人権教育・啓発推進計画改訂の議論を行い、年度末に計画を改定する。
②分野 分野20 総合的かつ効果的な計画推進に向けて	事業の対象：関係者			⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 議論する内容が多く、時間超過の可能性があったため、委員会当日議論すること、事後に書面で意見提出していただく内容に分けて運営した。	
③項目 分野20-1	⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容			⑪令和5年度の成果や実施結果 ・令和6年能登半島地震の影響により3回目の開催が出来なかった。 ・2回の委員会での議論により、市民意識調査の調査票を完成させ、予定通り調査を実施した。	
④所管課 広聴相談課	○令和5年8月3日(木)開催 議事：人権に関する市民意識調査について ・人権教育・啓発推進計画に基づく施策・事業の取組みについて			(目標設定) 委員会での議論を経て、人権教育・啓発推進計画の改訂を年度内にまとめる。	
⑤令和5年度決算額 182 千円	○令和5年9月7日(木)開催 議事：人権に関する市民意識調査について ・人権教育・啓発推進計画に基づく施策・事業の取組みについて				
⑥令和6年度予算額 273 千円	○令和5年 人権に関する市民意識調査 調査時期:11月 対象:満15歳以上の新潟市民3,000人 (無作為抽出) 回答率:40.9%				

令和5年度実施事業調査票

<p>①事業名 新潟市人権教育・啓発推進会議 発庁内推進会議</p>	<p>⑦事業目的・事業の性質 新潟市人権教育・啓発推進計画に基づき、新潟市における人権教育・啓発に関する行政施策の総合的かつ効果的な推進を図る。</p>	<p>⑨令和4年度の課題 書面開催により、密な意見交換が出来ていない。</p>	<p>⑫令和6年度の事業予定(目標設定) 新潟市人権教育・啓発推進計画の改訂に向け、個別の人権課題の取り組み、人権に関する市民意識調査の結果等について、庁内全体での情報共有を図り、計画改訂作業への協力依頼を行う。</p>								
<p>②分野 分野20 総合的かつ効果的な計画推進に向けて</p>	<p>事業の対象・関係者</p> <table border="1" data-bbox="619 1227 758 1845"> <tr> <td>啓発</td> <td>研修</td> <td>相談</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>会議</td> </tr> </table> <p>⑧令和5年度に実施した事業の主な取組内容 令和6年能登半島地震の影響により開催出来ず。</p>	啓発	研修	相談	その他				会議	<p>⑩令和5年度に対応・工夫した点や検討した点 —</p>	
啓発	研修	相談	その他								
			会議								
<p>③項目 分野20-2</p>											
<p>④所管課 広聴相談課</p>		<p>①令和5年度の成果や実施結果 令和6年能登半島地震の影響により開催出来ず。</p>									
<p>⑤令和5年度決算額 0千円</p>											
<p>⑥令和6年度予算額 0千円</p>			<p>(目標設定) 令和5年度に開催出来なかったため、地震の影響が収まってきたタイミング及び年度末の2回開催する。</p>								